

# 女子大生の描く民話の世界

## An Analysis of 700 Folktale Sequels by Junior College Women

鬼塚 雅子

ONIZUKA Masako

### Abstract

I have been lecturing on folktales of the world at Saitama Women's Junior College for the past ten years. In my class, I ask students compose sequels to their favorite folktales. Some of their sequel compositions are creative and interesting, incorporating various folktale elements, whereas others sound childish and disjointed. In this paper, I analyze the students' views of folklore found in about 700 such stories. I also explore their ideas on such things as happiness, love, death, independence, marriage and childcare. Although folktales, in general, are likely to be simple and lack depth, the sequels written by students are not only intricately conceived but also reveal their everyday concerns.

### はじめに

「世界の民話」の授業を担当して約10年になる。受講する学生数は年度によって異なるが、多い年は200名近くになる。成績評価の一部として「民話の続編」をテーマにレポートを課している。各自、自分の好きな民話を選び、その続編を自由な発想で1000字以上にまとめるというものである。2006年3月発行の『埼玉女子短期大学紀要 第17号』で、2004年度と2005年度の2年分のレポートの成果をまとめた論文を発表したが、その時の対象作品は160篇だった。それから4年経ち、今回は6年分約700名の学生のレポートを対象にまとめて直した。世の中が変動していく6年の間に学生達のレポートの内容にも変化が見られる。もともと民話は人々の生きる姿や知恵や思想を描くものであるから、学生たちが属する社会の状況や世相が、彼女たちの描く続編に反映されていても少しも不思議はない。前回の論文と同様、言葉の上では「民話」と「昔話」

の明確な区別は専門家でも難しいため、本稿では民話と昔話はほぼ同義語として扱う<sup>1</sup>。また、便宜上、本来の民話（昔話）は『 』を、学生の続編は「 」を用いて区別する。

## 1. 調査と続編に選ばれた民話

今回の調査では、過去6年間（2004年度から2009年度まで）の履修学生のレポートを対象とした。その対象者をできるだけ同じ基準のもとにおくため、年齢や日本語能力の差を考慮して、科目等履修生と留学生は除いた。さらに、理解が困難な内容のものやテーマを逸脱したもの（民話以外の話の続編を書いたレポート）も除外した。したがって実際には700を越える履修者及び提出レポートはあったのだが、調査対象となる続編は692となっている。以下が学生に示した課題レポートの内容である。

「世界の民話」レポート		
自分の好きな民話の一つ選んでその続編を書く（選んだ民話の題名を記すこと）		
用紙は自由	縦書き・横書きは自由	1000字以上（字数制限なし）
表紙にレポートの題名、学科、学籍番号、氏名を記す		
例：「シンデレラの老後」、「その後の白雪姫」、「いばら姫の結婚は上手くいったのか」など		
パソコン・ワープロ使用が望ましい、手書の場合はペン書きにする		
挿絵つき多いに歓迎！		提出締め切りは6月末の授業時間

上記の課題を出す際の注意としては、必ず民話を本で読むことをあげるが、なかなか実行されていない。つまり、絵本やDVDやビデオを見て、その続編を書く学生が多いのである。映画やアニメーションの場合、元の民話の内容が大幅に変わってしまっていることが多い。ディズニーがその代表とも言えるので、参考からはずすように指示するのだが、前回の紀要論文でも述べたように、学生へのディズニーの影響はとうてい消すことが出来ないほど強い。さらに、授業では民話の再話者として、グリム、ペロー、トルストイ、アフナーシェフ、ジェイコブズ、ラングなどをとりあげるが、アンデルセンの場合は作品のほとんどが彼の創作童話であるから、『火打ち箱』（デンマーク民話）、『小クラウスと大クラウス』（デンマーク民話）、『えんどう豆の上に寝たお姫様』（スウェーデン民話）、『旅の道連れ』（デンマーク民話）、『野の白鳥』（グリムの『六

羽の白鳥』とよく似ている)のみをレポートの対象として限定した<sup>2</sup>。(それでも毎年、『人魚姫』『マッチ売りの少女』『おやゆび姫』などの続編を書く学生がいる。)

毎年のことだが、誤字脱字が多く判読するのに困難なもの、内容が稚拙なものがある一方で、数ページにわたる大作や、昔話の要素を巧みに取り入れ、相当な知識を駆使した傑作、挿絵つきの本のような体裁を施したものなど、その見事な出来栄に圧倒されるレポートがある。さらに、ユニークな発想のもの、社会現象を取り入れたもの、学生自身や教員の私を含めた実在の人物を登場させるものなどがあり、毎年楽しんで読ませてもらっている。

今回の調査対象のレポート数

年度	1 年 生		2 年 生		計
	商学科	国際コミュニケーション学科	商学科	国際コミュニケーション学科	
2004	15	32	19	23	89
2005	30	14	2	2	48
2006	11	20	15	32	78
2007	43	59	18	28	148
2008	18	45	66	29	158
2009	17	26	91	37	171
計	134	196	211	151	692

2009年度は実際には204名の履修者がいたが、放棄した者、レポートを提出しなかった者、先に述べたように、その内容が対象から外れる者など除いたため、30名も少ない171名となっている。もし全員が提出していれば、今回の調査対象作品数は軽く700を越えていたはずであるから、まことに残念である。

次に上記の作品を元の民話の内容別に分類してみよう。

表 A 学生が続編に選んだ民話とその数

	続編が描かれた民話	2004	2005	2006	2007	2008	2009	合計	割合
No.1	シンデレラ	28	8	24	57	61	50	228	32.9%
No.2	白雪姫	17	9	19	26	24	30	125	18.1%
No.3	赤頭巾	15	2	6	18	16	16	73	10.5%
No.4	ヘンゼルとグレーテル	5	3	5	8	10	15	46	6.6%
No.5	いばら姫（眠り姫）	5	4	2	2	2	7	22	3.2%
No.6	ラプンツェル	2			1	4	2	9	1.3%
No.7	ブレーメンの音楽隊		2		2	2		6	0.9%
No.8	星の銀貨			1		2	3	6	0.9%
No.9	猫と鼠のとも暮らし					2		2	0.3%
No.10	ルンペルシュティルツヘン	1			1	1	3	6	0.9%
No.11	狼と七匹の子山羊			1	1	1		3	0.4%
No.12	かえるの王様		1			1		2	0.3%
No.13	恋人ローラント			2				2	0.3%
No.14	ハルメンの笛吹き					1		1	0.1%
No.15	十二人の兄弟					1		1	0.1%
No.16	ハンスはりねずみぼうや				1			1	0.1%
No.17	つぐみのひげの王様					1		1	0.1%
No.18	金の鍵			1				1	0.1%
No.19	七羽のからす			1			1	2	0.3%
No.20	ホレお婆さん			1				1	0.1%
No.21	貧乏人と金持ち		1					1	0.1%
No.22	四人兄弟		1					1	0.1%
No.23	三枚の葉		1					1	0.1%
No.24	12人の踊るお姫様（踊って擦り切れた靴）	1						1	0.1%
No.25	美女と野獣		3		2	2	5	12	1.7%
No.26	長靴を履いた猫	1	3	1	2		2	9	1.3%
No.27	ロバの皮				1			1	0.1%
No.28	青髭	1					1	2	0.3%
No.29	三匹の子ぶた	1	1	6	4	2	5	19	2.7%
No.30	ジャックと豆のつる	2		1	6	1	1	11	1.6%
No.31	トム・ティット・トット	1						1	0.1%
No.32	妖精の産婆		1					1	0.1%
No.33	火打ち箱	2				1		3	0.4%
No.34	エンドウ豆の上に寝たお姫様		1			1	1	3	0.4%
No.35	ぼろずきん（ノルウェー）				1			1	0.1%
No.36	醜い娘と可愛い娘（ポーランド）	1						1	0.1%
No.37	パーバ・ヤガー（ロシア）				1			1	0.1%
No.38	てぶくろ（ウクライナ）						1	1	0.1%
No.39	うさぎとかめ			1				1	0.1%
No.40	悪い魔法使いとりんご（マルタ島）	1						1	0.1%
No.41	アリババと40人の盗賊					1		1	0.1%
No.42	アラジンと魔法のランプ						1	1	0.1%
No.43	なまくらトック（ボルネオ）					1		1	0.1%
No.44	リップ・バン・ウィングル（アメリカ）				1			1	0.1%
No.45	桃太郎	2	2	3	5	6	8	26	3.8%
No.46	かぐや姫	2	2		1	6	1	12	1.7%
No.47	浦島太郎	1	1		5	3	8	18	2.6%
No.48	一寸法師		1	1	1		3	6	0.9%
No.49	鶴の恩返し			1		2	3	6	0.9%
No.50	雪女					1		1	0.1%
No.51	金太郎					1		1	0.1%
No.52	猿蟹合戦					1		1	0.1%
No.53	ぶんぶく茶釜		1					1	0.1%
No.54	むじな			1				1	0.1%
No.55	舌切り雀						1	1	0.1%
No.56	こぶとり爺さん						1	1	0.1%
No.57	神様のうちわ						1	1	0.1%
No.58	親を買う話						1	1	0.1%
No.59	手無し娘（香川県）				1			1	0.1%
※留学生・科目等履修生は除く		89	48	78	148	158	171	692	100.0%

この表 A はまず、グリム、ペロー、ジェイコブズと、ドイツ、フランス、イギリスとヨーロッパの民話を並べ、その後をアメリカ、アジア、日本の民話が続く。これは授業で扱った順番である。ほぼ予想通り、『シンデレラ』『白雪姫』『赤頭巾』が続編に選んだ民話の上位を占めている。これは学生たちが敢えて本を読まなくてもよく知っている民話を課題に選んだからである。4番目と5番目にある『ヘンゼルとグレーテル』『いばら姫（眠り姫）』もまたよく知られている民話である。ただ、何人かの学生は『いばら姫』ではなく、選んだ民話を『眠れる森の美女』と記していることから、ディズニーを参考にしたことは明らかである。それはアラビアンナイトにも言える。『アラジンと魔法のランプ』の中にはあまりにも元のアラビアンナイトとかけ離れてしまっているレポートがあり、それについては今回の調査対象からはやむなくはずしている。

学生が続編に選んだ民話は元々知っていたもの以外には授業で紹介したものが多いが、そのどちらにも属さないものもある。これまで自分の知らなかった民話をあれこれ読み比べた知的探究心のある学生がいることに喜んでいる。だが、日本の民話を選んだ学生が少ないことは日本人として寂しいものを感じる。実際、授業中に訊いてみると、さすがに『桃太郎』『金太郎』『かぐや姫』『浦島太郎』は知っているが、『舌切り雀』『猿蟹合戦』『一寸法師』などはなんとなく聞いたことはあってもストーリーはよく知らないという学生が大勢いることがわかり、驚いた。その原因の一つに家庭環境があるようだ。幼い頃、親から昔話を聞いたことが全くない（聞いても心に残らなかったのかもしれないが、心に残るほど繰り返し聞かされていないものと思われる）、絵本で読み聞かせてもらったことがないと言う学生がいて、今後の日本民話の行く末が心配になったほどである。

## 2. 続編のストーリー

まず学生のレポートを年度ごとに、タイトル、元の民話、学年、学科、荒筋をまとめたリストを作成した。それらは膨大な量になるので、この論文の中では掲載していない。その代わりに学生のレポートの中からユニークな発想のもとに書かれたストーリーを選んで年度ごとにまとめた表 B を作成した。ストーリーは荒筋より簡潔にまとめたが、それでもかなり長くなってしまったものもある。ストーリーの右には大雑把な特徴を独自の記号を用いて分析した。

表 B ユニークなストーリー (抜粋)

	タイトル	ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×	
2004年度			
No.1	狼ハンター・赤ずきん	「狼殺しの赤ずきん」と言われるようになった赤頭巾は1000体以上の狼を倒すのが目標	☆
No.2	赤ずきんちゃんのその後	毎日狼を殺し、その肉と血を食べ、毛皮を売ってお金を貯める。町で大金を稼ぎ、美しくなろうと決意する。	☆
No.3	赤頭巾ちゃんの人生	成長して幼稚園の先生になる。(自立、仕事) 生徒を食べた狼を射殺、狼の肉鍋を皆で食べる。	○
No.4	その後の赤頭巾ちゃん	赤頭巾はパティシエに (森に小さな菓子の店を開く)	○
No.5	赤ずきんちゃんのその後	赤ずきんはあれ以来、引きこもり状態、葡萄酒も口にできず、おばあさんの死を自分のせいだと責める。結局は恋人も赤ずきんも狼に食べられてしまう。	□×
No.6	その後のいばら姫	娘の王女が結婚して時間ができたいばら姫はデザイナーになり、服と家具を売る店を開く。	○
No.7	いばら姫の続編	娘の王女が、父である王子の従姉妹に拉致されるが、助かる。	■
No.8	白雪姫のその後…	継母 (女王) は生きていて王子に呪いをかけるが、小人の活躍と姫のキスで元気になる。	
No.9	白雪姫2	死んだはずの女王が老婆に化けて生きていて、小人に復讐しようとするが、失敗。	
No.10	白雪姫の続き	娘の美雪姫が、魔女の手下に殺されそうになる。	
No.11	白雪姫の本当の幸せ	白雪姫は4番目の小人の子を身ごもり、子どもが生まれると王子が気づく。王子の死後、その小人を新しい夫として城へ迎える (再婚)。	▼
No.12	白雪姫の最期	死体愛好癖の夫にナイフで腹部を刺され、白雪姫は死ぬ。	■×
No.13	snow white のその後	継母 (女王) は魔女として復活。白雪姫は再度狙われ、針で刺され倒れるが、助かる。継母は煙となる。	
No.14	白雪姫には姉がいた？	王子は魔女 (白雪姫の実の姉妹) になびき、姫は追放され、ある女性の召使 (シンデレラ) となる。	
No.15	白雪姫その後…	息子の王子が一歳の誕生日に、姫と王子 (夫) は魔法の国一周旅行に出かける。戻ると王子 (息子) は大きくなりすぎて…	
No.16	その後の白雪姫…	姫は城の生活が合わないと感じ、王子と別れ、再婚。	
No.17	白雪姫の新婚生活	亭主関白の王子は姫に一日一食にするという誓約書を書かされるが、ギャンブルに走り、反省文と誓約書を100枚書く。姫は節約の生活をし、アルバイトで小人の家の家事をする。	☆
No.18	シンデレラのその後	王子はマザコンで浮気をしていた。姫は王子と離婚、相手募集の張り紙をし、貧しいトムと再婚。	▼
No.19	シンデレラ	王子の浮気調査をすると、王子は熟女誘拐犯と判明。シンデレラは王子を谷底に落とす、実の母親が監禁されていた。	■
No.20	シンデレラのその後	シンデレラは作法・挨拶・立ち振る舞いを学ぶ (前向きに努力する)。	※
No.21	シンデレラⅢ～シンデレラ母になる	王 (舅) は大喜びで、ベビー用品を買い込む。	
No.22	シンデレラ	シンデレラは我儘になるが、反省。城を出て働きながら子育て、その後王子と再会し、再び一緒になる。	○
No.23	シンデレラのその後	王族の習慣に慣れるため、シンデレラは厳しい教育を受け倒れるが、明るく積極的にがんばる。	※

	タイトル	ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2004年度		
No.24	シンデレラのその後	シンデレラが靴のデザインし、靴作りが始まる。ドレスやアクセサリーのデザインも手がけるようになる。○
No.25	シンデレラの老後	継母と義姉により息子が行方不明になり、その罪がシンデレラにかかるが、真実が判明される。■
No.26	シンデレラ	王子が新規事業を始めるが、相手国の社長に騙され、お金も持ち逃げされ、保険会社の契約書も捨てられたので保険がおりず、すべてを質に入れる。借金返済のためシンデレラも他の城の召使になり、王子は牧場の仕事をす。やがて借金を返し、子どもも生まれ、家族4人幸せに。○
No.27	シンデレラのその後 (現代風)	シンデレラはスーパーアイドル扱いされるが、皆に嫌われ、城から追放、その後反省し、再び王子と結婚、皆に好かれるシンデレラになる。
No.28	シンデレラの結婚後の生活	王子と隣国の王妃ローラの間にできた子供をシンデレラが殺す、両国間の戦争。■
No.29	シンデレラ	シンデレラはブランド品を買いあさり、体重100キロを越え、ガラスの靴は壊れる。王子に離婚され、王子のクレジットカードを無断使用した罪で告訴され、投獄され、牢屋で一生を終える。王子は義姉と再婚し、3人の子どもたちと幸せに暮らす。ドッジボール大会、接着剤(ガラスの靴を直すため)など。■
No.30	シンデレラのその後	王子の浮気癖、逆切れと暴力、家事・育児の協力なし。子どもに泣かれ、王子は反省する。▼
No.31	シンデレラのその後	過酷な礼儀作法の教育を教育係から受ける。結婚後怠けた生活を送り、シンデレラはダイエットに励む。※
No.32	シンデレラのその後の生活	森の動物たちの運動会に参加し、嫌なことを忘れる。
No.33	シンデレラのその後...	不妊に苦しむ。離婚を考え、何度も自殺を考える、魔法使いにより、犬を魔法でお腹に入れられ、出産(犬王子)。育児ノイローゼになる。本当の子が生まれ、王が死ぬと、後継者争いが起こる。シンデレラは犬王子を殺害。殺人犯として牢屋で一生を過ごす。□■
No.34	その後のシンデレラ	帝国が国内に侵攻し、国は占拠される。王は自害、シンデレラは国外脱出、中立国で暮らす。やがて王子は祖国へ戻り、24歳で即位。国は繁栄し、シンデレラは国母として尊敬され、72歳で死去。×
No.35	ヘンゼルとグレーテル	父親が母親を殺害、壁にその死体が眠った家で3人は生活続ける。■
No.36	ヘンゼルとグレーテルのその後	父親の再婚相手が変身した魔女で、2人は再度殺害、最初は有名になるが、人殺しと非難され、国外に追放される、後に同情の声が出てきたが、二人の消息は不明のまま。■
No.37	ヘンゼルとグレーテル	高校生になったグレーテルは夜遊びをするが、モデルになる夢を思い出し、努力する。
2005年度		
No.38	あかずきんちゃんのその後...	小学校の教室、本の中から赤頭巾が飛び出し、孤独な少女と仲良くなり、少女はクラスの輪の中に入る。
No.39	眠りの森の美女のその後	王子と姫は夫婦喧嘩が絶えない、姫は一人暮らしをする、王子はずっと不倫しており、国外追放になる。▼
No.40	眠り姫のその後	王妃となった姫は娘達に女は美しく、ファッションに敏感にならなくてはだめだと言いつける。
No.41	浦島太郎	乙姫も玉手箱を開けておばあさんになった2005年夏、2人は金色に光る箱を開け、太郎と乙姫は22歳になり、東京で乙姫は会社の受付として働く。二人は自分の体験を絵本にする。
No.42	えんどう豆の上に寝たお姫様のその後	王子は料理を勉強に単身でフランスへ、滞在中、美女(魔女)と同棲。デートする王子を姫はテントを張って見張る。その美女の夫とは知らず、姫は若い王子と恋仲に。結局4人は元の鞘に戻り、仲良くなる。※▼

タイトル		ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2005年度		
No.43	貴公子たちの執念	五人の貴公子たちの中一人がアポロ11号で月へ、懇願されてかぐや姫は地球へ、再度求婚され、姫は無理難題を出す。怒った貴公子たちは姫が吸血鬼であることを知り、山小屋に閉じ込める。
No.44	3匹の子豚～末っ子の子供たちの物語～	末っ子の子豚たちは遊んでばかり、夫婦も亡くなった兄たちも心配する。子豚たちは大工に弟子入りして大工になり、親孝行をする。狼は新築祝いパーティにやってくるが、撃退される。
No.45	白雪姫の結婚はうまくいったのか	王は戦争へ行き、帰還するが、戦時の孤独感や悩みが原因で性格が悪くなる。姫は城を出て、妖精たちの家で働きながら死ぬまで暮らす。王は姫を忘れられず病気になるしで死ぬ。 ○
No.46	白雪姫のその後…	白雪姫は継母のように毎日鏡に問う。魔女は小人に助けられ、心を入れかえる。一方、白雪姫は鏡が魔女を美しいと答えたため、猟師に魔女を殺し、心臓を持ってくるよう命令する。
No.47	リングを食べろ！白雪姫！	毒リング事件以来、大好きだったりんごを食べなくなった白雪姫のために、王子はシェフを呼ぶ。
No.48	七人の小人と少女	姫は子育てを放り出し、王子しか眼中にないので、娘は家出するが、王子も姫も迎えにいかない。
No.49	白雪姫のその後	嫁と姑（王子の母＝王妃）の関係が上手くいかず、王妃の嫌がらせにより、結婚1年後、白雪姫は城から出て小人の家で暮らす。王子は訪ねてくるが拒否、姫は孤独のうちに年老いて寂しく死ぬ。 ×
No.50	シンデレラのその後	王子とシンデレラは魔法使いのおばあさんによって2005年の東京へ、ホームレスのお婆さんに声をかけると魔法使いだった、その体験をシンデレラは本にし、ベストセラーとなっている。
No.51	その後のシンデレラ	継母がシンデレラに催眠術をかけ、牢屋へ閉じ込められるが、魔法使いによって元に戻る。
No.52	シンデレラの結婚後	シンデレラが継母たちに薬を飲まされ、植物人間にされそうになる、継母たちは清掃人になる。 ■
No.53	ヘンゼルとグレーテルのその後	ヘンゼルは眠っている姫にキスして結婚（「眠れる森の美女」の話となる）、グレーテルは隣国の王妃となる。養父が再婚後、死亡。その後、養父の妻（継母）と義姉にいじめられ、シンデレラとなる。
No.54	ヘンゼルとグレーテルと魔女	魔女は死んでも魂と魔力は残るという。グレーテルは魔女となり、その身体は灰となる。魔女はグレーテルの身体を手に入れようとするが、ヘンゼルによって死ぬ。 ×
No.55	10年後の桃太郎	英雄となり天狗になった桃太郎にお爺さんとお婆さんは愛想をつかして家を出る。桃太郎は孤独となり引きこもり状態、復讐を諦めた子鬼が桃太郎に「人生とは何たるか」を説教する、金太郎をコーチとして迎え、キジと（「狼蟹合戦」の）白が加勢して、再び過去の栄光をとりもどす。 ※
2006年度		
No.56	一寸法師の旅	「マッチ売りの少女」の世界へタイムスリップ
No.57	赤ずきんちゃんと王女様	赤頭巾は体力的・精神的に強くなろうと剣術・武術を徹底的に勉強、王女のボディガードになる。王女も赤頭巾も自分達より弱い男性とは結婚できないと思っているため、結婚相手が見つからない。 ※☆
No.58	赤ずきんちゃんのその後…	狼は赤頭巾のボディガードになる。さらに森の料理大会に出場し、レストランを出し、行列のできる店になる。客の狼ベルはオカマだったが、狼（男）同士で結婚。
No.59	赤ずきんちゃんのその後…	赤頭巾のことが狩人の妻に知られるが、離婚成立後、結婚。赤頭巾は猛勉強して警察官に、子育て中は仕事から離れ、後に仕事に復帰。 ※○
No.61	おおかみと3匹の子豚	こぶたは羊追いの才能を買われて活躍、映画『パイプ』のパイプとなる。狼は牧場の主人に射殺される。



	タイトル	ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×		
2006年度				
No.62	三びきの子ブタの子供たち	ピッキングが得意な狼だが、3匹がたてた3軒目の家は指紋センサーつきだった。		
No.63	三匹の子ブタ～末っ子子ブタの新しい生活	末っ子ブタはレストランで働き、テレビ・雑誌に引っ張りだこになる。大人気メニュー（狼の肉のステーキ）、5つ子誕生。		
No.64	白雪姫と王子の苦悩	毒リングが原因でりんご恐怖症になった白雪姫がりんごを食べられるようにするため、王子は料理教室へ通い、アップルパイを作る。30年後は姫はアップルパイ専門店を都会で出す。	□○	
No.65	白雪姫の誤算	王子の母が癌で死亡、遺産相続、王子とシンデレラの浮気現場を写メにとり、弁護士を雇い、裁判を起こし、損害賠償金を手に入れる。姫は小人の一人と浮気し、賃貸しマンションに住むが、逃げられる。電話をかけても通じない、小人は計画的に姫を騙したのだ。姫は生きる気力を失い、死ぬ。	▼■ ×	
No.66	白雪姫への逆襲	崖から落ちて大怪我をしたが生きていたお妃は、白雪姫を殺して自分が王子の妻になろうとする。チラシ見て浜崎あゆみ似の美容整形を受けるが失敗、海へ流され、他国へ。		
No.67	白雪姫の本性	結婚後、白雪姫は本性を出す。自分を世界一美しい女性と思いこみ、我儘になり、浮気を繰り返す。そのひどさに、浮気相手の男たちと王子が手を組み、姫を捕らえる。姫は一生を牢屋で暮らす。	▼	
No.68	白雪姫と第二王子	第二王子と結婚、第一王子は悪魔と契約を結び、弟殺害をたくらむが自滅。		
No.69	2人分の人生 (白雪姫)	毒リングが原因で姫はミイラ病に、王子は自分の血液を提供して死ぬ（本当に愛する者の血液を大量に輸血するのが唯一の治療法）。姫は助かり、老婆になるまで小人と暮らす。	□	
No.70	白雪姫のリングのお菓子屋さん	城と城下町が財政難だったので、姫はリングのお菓子屋を始め、大繁盛する。世界中の人々が観光がてら、リング菓子を求めてやってくる。姫が人気パティシエとして世界中を飛び回る。	○	
No.71	白雪姫と8人の小人	イケメンの王子、赤ちゃんはストレスで笑顔を見せなくなる、小人は国民栄誉賞を貰う。		
No.72	シンデレラ続編： そして未来の為に	結婚後、王子は国王になるが、大変な酒豪だった。だが、シンデレラの願いで酒を絶ち、やがて子供が誕生、その名は白雪姫。（一人称で語る、私＝シンデレラ）		
No.73	シンデレラの体型推移	結婚後、シンデレラは言葉遣い、礼儀作法、立ち振る舞い、内面の品格形成に苦労した。20年後、豊かな食生活により肥満体型になる。だが王子は笑顔と愛情でどんな体型になってもシンデレラを受け止めていた。	※	
No.74	シンデレラの真実	王子はこれまで3回結婚をし、マザコンを理由に離婚していた。これ以上離婚できず、国中で一番不幸な少女を探し、魔法使いを雇い、シンデレラストーリーを仕立てたのだ。数年後、まだ離婚していないが、シンデレラのきらびやかな時は一瞬で終わり、今は精神科に通う毎日。	□	
No.75	シンデレラのその後	男女の双子（5歳）をお使いに出すが、帰って来ない。女の子は3人の女に拉致、監禁される。王子と引き換えなら返すといわれ、王子は女達の城へ向かう。女の子は監禁されたまま、男の子は家でひとりぼっち、シンデレラはどこかの海岸にと、家族ばらばら。最後は家族全員無事に家へ戻る。	■	
No.76	シンデレラのその後	詐欺師の少年ジニー（会社の倒産、多額の借金）に騙され、王子一家は城を売る羽目に…	■	
No.77	その後のシンデレラ	息子ジョニーが継母と姉達に誘拐される。シンデレラは魔女に命を差し出し、息子を救う。シンデレラの死後、王子は男手一つで息子を育てる。	■×	
No.78	シンデレラのその後	シンデレラが我儘で傍若無人になる。王子は城の人間全員の協力を得て、一般女性と駆け落ちする。シンデレラは城を出て、継母の家で再び掃除婦になり、こき使われる。		

	タイトル	ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2006年度		
No.79	シンデレラのその後	王子は暴力を振るい、女遊びもひどい、シンデレラは貧しい若者と駆け落ちするが、国民はシンデレラたちに味方した。王と王子は国外追放、シンデレラはその若者と結婚し、幸せになる。 ▼
No.80	継母と魔女の契約	継母はシェフ、姉妹はシンデレラ付きのメイドとして働きながら復讐をたくらむ。継母は魔女と悪魔の契約をするが、失敗。
No.81	シンデレラのその後	結婚して数日後、自分が本当の靴の持ち主だという女性が現れる。靴はびったり。どちらが王子の誕生日に王子を喜ばせる贈り物ができるかという対決をし、シンデレラは負け、召使に戻る。
No.82	つるのおんがえし ～人の心とは～	おじいさんとおばあさんは着物の販売で成功を収め、フランス宮廷へ招かれる。
No.83	七羽のからす(続編) ～月と太陽と星～	長男はメシアの生まれ変わり、次男はリヴァイアサン、三男はサタン、四男はペフェゴール、五男はミカエル、六男はガブリエル、妹は最後の審判そのもの、末っ子は星の子、兄弟たちは元に戻り、末っ子は自分の星の王子に、妹は王女に、6人兄弟はエクソシストとして人を助ける。
No.84	ヘンゼルとグレーテルの その後の不思議な話	父親が子連れで亡くなり結婚。継母は兄妹を殺そうとするが、巨大な鷲に連れ去られ、その連れ子(娘)は火事で焼死する。 ■
No.85	お金持ちになったヘンゼルとグレーテル 家族のその後…	父親は兄妹の持った宝石で裕福な生活を送り、カジノへ毎日行き、負ける。兄妹はかつて自分たちがされたように、父親を森へ連れ出し置き去りにする。父親は熊に襲われて死ぬ。 ■
No.86	ヘンゼルとグレーテルの その後の物語	両親は喜んで二人を迎えるが、宝物が底をつく、また森へ捨てようとする。二人は両親をお菓子の家へ誘い、釜戸へ押し込み、焼殺する。 ■
No.87	星の銀貨の隠された 真実	2006年のCMスタジオヘタイムスリップ、そこで妻夫木○と出会う。
No.88	桃太郎と鬼	鬼たちが村で村人たちと共存する。助け合い支えあう。
2007年度		
No.89	赤ずきんちゃんのつづき～オオカミとおばあさんの巻～	赤頭巾は狼を病院へ連れて行く、狼は謝罪して家政婦になる。山菜を食べた狼はお爺さんになる。おじいさんは33年前、魔法で狼にされていたのだ。
No.90	赤ずきんの運命	殺された狼の子供がお婆さんとお母さんを殺害、赤頭巾に自分と同じ悲しみを背おわせた。赤頭巾は自分の罪を悔い、生涯、母と祖母、自分が殺したオオカミのために祈り続ける。 ■
No.91	赤ずきんちゃんの その後の異変	赤頭巾は話をしても皆に信じてもらえず、精神病院へ入院させられる。満月の夜、抜け出し、おばあさんの家へ行くが、おばあさんはすでに狼になっていた。2人の体内の細胞に狼の血や粘液が入ってしまったためだという。赤頭巾も狼の姿になり、やってきたお母さんを食い殺す。 ■
No.92	太郎は鶴にはならなかった (新訳 浦島太郎)	両親の墓前(八王子)に報告に行くため、道案内してくれた若者に太郎はお礼に玉手箱を差し出す。若者が箱を空けると、白い煙がたちこめ、太郎の姿は消え、「小鉄」と書かれた刀が残った。若者は近藤勇。
No.93	浦島太郎のその後	三日三晩泣き続けていると、亀が再び現れたので、太郎は再び竜宮城へ。元の姿に戻って竜宮城で暮らすことを選択すると、乙姫は魔物に変わり、太郎を食べてしまう。魔物はその後も人々を食べまくった。 ×
No.94	浦島太郎その後	亀が老人となった太郎の亡骸を乙姫に見せると、乙姫は自殺。竜宮城は海底に眠り、やがて発見されるが、七不思議として話題になる。 ×
No.95	3匹のこぶた つづきのお話	オオカミは泣き出し、一人ぼっちでみんなに構ってほしかったと言う。こぶたたちはオオカミの家に同居し、パン屋を開業、城に雇われる。
No.96	ジャックと豆の木	巨人は死なず、気絶していただけだった。巨人はジャックを飲み込むと、腹の調子が悪くなり、病院へ。ジャックは巨人の腹の中で生きていて、巨人は困っているときにはジャックにアドバイスを貰う。その様子を見て、村人たちに「一心同体」という言葉が生まれた。

	タイトル	ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2007年度		
No.97	白雪姫～白雪姫の復讐大作戦～	王子と妃（姫を殺そうとした）が共犯者であることを知った白雪姫は2人を殺害し、王子の財産を自分のものとし、新しい王子と幸せに暮らした。 ■
No.98	白雪姫のその後…	王子の妃の座をかけて西の国の姫と白雪姫の料理対決。不正をして勝った白雪姫の性格と容貌は悪くなり、王子の愛想をつかされ、森へ追放され、森の魔女となり、美しい者の命を狙う。
No.99	「シンデレラ」のその後	シンデレラは傲慢な女王になり、わが子を殺害。国民は再びガラスの靴の合う女性を探し、新しい女王を望む。ガラスの靴にぴったりあう女性が現れ、シンデレラは偽者と騒がれ、死刑に。未来の王子誕生。 ■×
No.100	「シンデレラ」のあの人は今	シンデレラを失った継母は家事全般をさせる少女を探し、その父親と再婚。その少女はシンデレラ以上の美人で、魔法使いの力を借りずとも王子と結婚。以後、その義理の娘が王子と結婚できるという噂がたち、継母に結婚を申し込む父親（娘を持つ）が絶えなかったという。
No.101	「シンデレラ」のその後	シンデレラは怠け者で我儘になる。魔法使いの忠告を無視したため、口が開かなくなり、医者も治せない。3年間我儘をやめて城の手伝いをする事で、口は元に戻る。シンデレラは皆に謝罪し、幸せになる。
No.102	シンデレラ	シンデレラはいつのまにか食用豚のように太る。王子は白雪姫と浮気。肥満度が増す。過酷なダイエットにより元の体型に近づくが、拒食症による栄養失調と精神的疲労により死亡する。しかし王子のキスで目覚める。 ▼□
No.103	シンデレラのその後	シンデレラはわがままで意地悪になり、無駄遣いをする。魔法使いにより声が出なくなる。反省し、王子と国に尽くし、優しい心を取り戻すと、美しい声も取り戻す。
No.104	シンデレラの波乱万丈物語	毎日神社へ行き、子ども誕生を神に祈る。その1年後にできた息子は18歳で不良、暴走族に（かつあげ）なる。事故に会い、病院へ搬送、記憶喪失。失踪（行方不明）。シンデレラは衰弱死、王子は首吊り自殺。 ×
No.105	シンデレラ～another story～	王子は我儘で自己中心の生活、短気で機嫌が悪いと暴力をふるう（家庭内暴力）、シンデレラは耐えたが、限界になり、離婚を考える。しかしシンデレラを思う気持ちが王子を変えさせ、2人には子供が誕生。
No.106	シンデレラの話の続き	シンデレラは人の役に立つことをしようとバリバリ働いた。第二子誕生後は、仕事を休み、家のことをしっかりやる。 ○
No.107	シンデレラの結末	ガラス靴工場の開発による森林破壊のことを知った王子が問い詰めると、妬み・恨み・憎しみから物の怪になってしまった継母がシンデレラになりすましていたことが判明。本物のシンデレラは結婚式後に殺され、継母に食べられていた。魔法使いが継母を消す。王子の希望により、娘は婿をとらず、父の元に。 ×
No.108	本当の幸せ（シンデレラ）	シンデレラは魔法使いが魔法を間違えたため何にでも変化する妖怪になっていたが、魔法使いが謝罪し、元の美しい姿に戻る。
No.109	シンデレラの続編	シンデレラは我儘になり、育児放棄、王子は愛人の元へ、王子が戻るとシンデレラは離婚届をつきつけ、育児に専念、離婚成立後、親権を得たシンデレラは、バツイチ同士で他国の愛人と結婚、幸せに暮らす。 ▼☆
No.110	シンデレラはどんな王女になったのか	お互い何も知らないまま結婚したので性格が合わない。王子不在（遠征）により、シンデレラの性格はゆがんでいく。王子が帰国すると、国は荒れ、シンデレラは常軌を超えた行動を繰り返していた。王室の信頼は失われ、説得に応じないシンデレラを王子は毒殺する。シンデレラの死は謎にまつまれたまま、忘れられる。 ×
No.111	シンデレラのその後の人生	王子は母である後の看病をシンデレラに任せて浮気、王子と后が謎の病気で死亡。それはシンデレラの復讐だった。欲に目がくらんだシンデレラは魔法使いにより醜い姿となり、城を出され、森の奥深く、お菓子の家で一生寂しく暮らす。 ▼■
No.112	シンデレラの結末	自分達に似ていない子どもを殺害した罪悪感から、王子とシンデレラは貧しい家庭の子や親のない子を引き取り育てる施設を開設した。第二子は最初の子の生まれ変わりだった。 ■

タイトル		ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2007年度		
No.113	シンデレラの結末	娘を殺害されて(後に生き返る)シンデレラが復讐から姉達を殺す。しかし王子(落馬)も娘(原因不明)も死に、シンデレラは狂って自殺する。城には今でも2人の死体が残っていて、死の森と言われている。 ■×
No.114	シンデレラの子供	娘マリアは幼稚園、小学校、中学校、高校、大学へと進学。学級委員、運動会、リレーの選手、テニスの部活、医療系の大学、看護師、彼氏(ジャック)と結婚。
No.115	シンデレラの秘密	豪華絢爛なクルーザーによる世界一周旅行で、貧しい国の人々のことを知る。帰国後、シンデレラは自分の指輪、ドレス、バッグ、ガラスの靴まで売って助ける。自分のことしか考えない王子には愛想をつかす。 ☆
No.116	The Cinderella Story Road of Independence?	退屈な日々とうんざり、このままでもいいのかと自問、妖精にまずは考えるより行動することを勧められ、城を出て自分探しの旅へ。1年と99日目に王子も妖精に言われ、城を出る。王だけが2人を信じて帰りを待つ。 ※
No.117	シンデレラ	シンデレラは与えられるばかりで自分にはすることがないと思っていると、妖精が助言をする。何か役にたつことをしたいと王子に打ち明け、王子と城の仕事を一緒にやる。掃除・洗濯も自分からやる。 ○
No.118	シンデレラという名の結婚詐欺師	「幸せな結婚」だと思っていたのは王子だけ。シンデレラの正体は結婚詐欺師で、これまで金持ちの男性を何人も騙し、王子とも何回も結婚してきた。意地悪な姉2人とも手を組んでいる。結婚式をあげて3週間後、高価な宝石を手に入れたシンデレラは王子を湖に突き落とす。王たちが王子を救助している隙に、ドレス・ティアラ・宝石・毛皮など王子の全財産を荷造りし、置手紙を残して国を出る。次は隣国の王子を狙う。シンデレラが結婚詐欺を行う理由は謎に包まれたまま。 ■
No.119	「ヘンゼルとグレーテル」のその後	歴史は繰り返す：村人が魔女の仕返しを恐れ、2人を殺すことにしたため、グレーテルは森へ逃げる、そして魔女の家に住み、魔女となる。ヘンゼルは結婚、やがて2人の子どもを飢饉ため森へ捨てる。子どもを食べようとしたグレーテルは女の子により焼死させられる。 ×
No.120	ヘンゼルとグレーテル	魔女の力は女に継承する：グレーテルは魔女となり、ヘンゼルの娘エルゼを食べようとして、かまどに押し込まれる。その後お菓子の家は廃れた山小屋に変わった。 ×
No.121	ヘンゼルとグレーテル	持ち帰ったお菓子で「魔法のお菓子屋」を出店。そこのお菓子を食べると一時的に魔法が使える。お菓子の家は再生されるので、なくなるたびに森へ取りに行く。子ども達にも店を継がせ、秘密を伝える。2人の一家は代々菓子屋を営む。やがて2人の子孫は2人のことを絵本にする。 ○
No.122	桃太郎	桃太郎はお爺さんお婆さんを酷使し、遊びまわり、弱い者いじめをし、女遊びも激しかった。犬・猿・雉の三匹と鬼たちが協力して、桃太郎を退治する。桃太郎は反省し、真面目になる。
No.123	桃太郎と鬼達	退治した鬼達がまた悪さをしていると聞いた桃太郎と姫が鬼ヶ島へ行くと、鬼たちはリゾートホテルをやっていた。二人は村へ帰って説明し、村人みんなでホテルへ行く。鬼ヶ島ホテルは大繁盛。
No.124	まねーいずらいふ (桃太郎)	老夫婦は宝を手にとると遊び放題で桃太郎を奴隷同然に扱う。桃太郎は悩んだ末、2人を殺害。桃太郎はお金がすべてと思い、困っている村から報酬を取り上げるすさんだ人間になった。 ■
No.125	Rip Vab Winkle の その後	リップ・ヴァン・ウィングルが浦島太郎に会うために日本へ渡り、探すが、結局は会えなかった。亀を助けて竜宮城へ。玉手箱を貰い、開けると若返る。知り合った女性と結婚し、第二の人生を日本で幸せに過ごす。
2008年度		
No.126	赤ずきん	狼が人間になれる薬品でイケメンに。薬を作ったのは三匹のこぶたの末っ子(錬金術師)。

	タイトル	ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×	
2008年度			
No.127	赤ずきんちゃん続編	生きていた狼が携帯電話で連絡した仲間は老女に変身し、リングを勧めるが、赤頭巾は取り合わない。そこで赤頭巾を食べてしまうが、赤頭巾は護身用のナイフで狼の腹を裂いて出てくる。今度は殺されかけた狼と直接対決(タイマンで勝負)、カンフーの使い手だった赤頭巾は狼を殺す。様子を見ていたイケメンの少年と結婚。	☆
No.128	赤ずきんちゃんとオオカミと赤い花	赤頭巾は20歳、村一番の美少女で有名。死んだ狼の弟と仲良くなったが、快く思わない村の男たちが弟狼を殺害、赤頭巾は弟狼の毛皮を兄狼の墓において、ナイフで自殺。数年後、狼の墓に赤い花が咲いた。	×
No.129	赤ずきんちゃんのその後	狼は再度赤頭巾を狙い、食べてしまうが、狩りに来ていた王子が撃ち殺し、赤頭巾を助け、結婚。狼は城の絨毯になる。	
No.130	浦島太郎のその後	おじいさんになった浦島太郎はマンボウを助け、亀のもとへ連れていってもらい。元の姿にもどせと亀に言うと、もう一つの玉手箱をくれる。太郎は元の青年に戻り、新しい人性を探しに行く。	
No.131	浦島太郎 sequel	太郎はあるがままの姿を受け入れ、前向きに村の老人たちと交流を深める。秦の国へ行き、イルカを助けたことで、若い姿に戻って故郷へ帰る。	
No.132	エンドウ豆の上に寝たお姫様の本当の話	本当は寝相が悪くて痣ができたのだが、事実が分かるのを恐れた姫は王子(実は王子の弟)と王妃を含めた城中の者を全員殺害し、宝石類を盗んで売る。王子は姫が気絶している間に、姫の城内にいる者全員を殺害。王子と姫は手を組み、次々と殺人を繰り返す。魔女が二人を小さくして小瓶の中に封印し、二度と人を殺せないようにした。	■
No.133	『かぐや姫』の未来	月の世界はデジタル世界、高層ビル、ダイエットが流行、ヨガやフラダンスを取り入れたスポーツが話題、姫は健康グッズの会社の社長として成功したが独身。人間型ロボットの製造。ロボットを地球に埋める。	○
No.134	金太郎のその後の話	「今までの自分を振り返り、やるべきことを見極めなさい」という不思議な声を聞く(キャリア意識の目覚めか?自己分析?)。猛勉強し、名門大学の医学部へ入学、二年連続の飛び級、動物病院の医師になる、妻の赤頭巾は看護師になり、助産士の資格も取得。	※
No.135	白雪姫のその後のストーリー	小人は人食い魔物で白雪姫を狙っていたが、継母や王子に邪魔されて食べられなかった。姫の子供を狙うが、姫に恋した「おとぼけ」が身代わりになり、他の小人たちに殺される。小人たちは死刑になる。	■
No.136	白雪姫のその後…	白雪姫も50歳近くになり、太った中年女になっていた。封印されていた魔法の鏡を見つけ、世界で一番美しいのは誰かと問うと、娘の白樺姫だと答える。白雪姫は嫉妬の念にかられ、ダイエットと女磨きに力を入れる。魔女に毒入りリングを娘に食べさせるよう頼むが、王子にばれて見放され、醜い女性になる。	■
No.137	白雪姫のその後	結婚一年後に流産、二年目に王子の浮気、子供が生まれる前に離婚、白ゆりという娘をもつシングルマザーに。やがて白ゆりは隣国の王子と結婚、白雪姫に孫ができた。	☆▼
No.138	白雪姫のその後	白雪姫はイケメンの隣国の王子と不倫、事実を知った王子はショックで寝込む。王子は自分が姫を城外に出さない生活をさせてしまったからと反省。姫も反省し、二度としないと誓う。隣国の王子も妃に不倫がばれ、ぼこぼこにされる。	☆▼
No.139	白雪姫のその後	りんご恐怖症になった白雪姫はアップルパイを作れず、肌を焼き、髪をブロンドに染め、化粧も派手になり、性格も荒れた。王子が自分で育てた真っ赤なリングを姫に食べさせると、姫は肌を白くし、髪を黒くし、化粧もナチュラルメイクに戻った。	□
No.140	白雪姫～七人の小人の恋物語～	白雪姫が幸せに暮らしているのをうらやましく思い、小人達は恋人を見つけようと旅に出た。小人たちは魔法の鏡に恋人の居場所を問うと、森の奥の小さな家にいるという。お花畑で七人の女の子の小人を見つける。森の中の一軒家が彼女達の家で、小人達はそれぞれ女の子に求婚し、数日後、白雪姫と王子たちに祝福されて盛大な結婚式を開いた。14人は幸せに暮らした。	

タイトル		ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2008年度		
No.141	シンデレラのその後	礼儀知らずで知識のないシンデレラは王子の祖母から食事マナー・文字の書き方を教わる。厳しさからうつ状態に、ストレスで拒食症に、今度は過食症に。精神的に参った上に、王子の暴力も加わって、ついに召使と城をでる。 ※□
No.142	シンデレラその後	魔女よもぎはシンデレラの娘が車にはねられそうになったとき、身代わりになって命を落とす。
No.143	シンデレラの話の後	化粧が濃くなり、髪に金色やメッシュを入れ、肌は黒くなり……タバコを吸い、バイクを乗り回し、夜遊びをし、ホストクラブまでいくようになった。離婚後、アルバイトをしなくてはならなくなり、元のシンデレラに戻る。
No.144	シンデレラのその後…	アルツハイマー病になったシンデレラは城を出る。一ヶ月後、王子が見つけた、ガラスの靴を見せると、奇跡的に記憶が蘇った。それから二人は同時に亡くなる。 □×
No.145	シンデレラの幸せ	結婚19年目、王子は70キロにまで太ったシンデレラに50キロまで痩せないなら離婚するという。ダイエットとリバウンドをくり返したが、結婚20周年の記念日には50キロになり、もう一度ウェディングドレスを着た。
No.146	続・シンデレラ	美しく優しい娘、強くたくましい息子に恵まれ、孫もでき、大切な家族に見守られながら、100歳で眠るように息を引き取る。 ×
No.147	王子様の運命	娘が誘拐され、シンデレラは城を出る。王子はシンデレラと娘が生きているとも知らずに、剣で自殺。 ■
No.148	シンデレラⅢのその後	家事以外にすることがなく、ストレスがたまる。買い物でストレス解消、結婚記念日には2人が出会った場所へ行き、毎年結婚記念日はそこで過ごすことにする。
No.149	「シンデレラ」の結婚後	妖精のおばあさんは実母の母(祖母)、実母アンデレラも妖精で、人間との子供を生み、生きている。
No.150	シンデレラのつづき	白雪姫と一緒にホストクラブへ、白雪姫もシンデレラも専業主婦。
No.151	シンデレラのその後	王子は100キロを越えるメタボリック・シンドロームなり、がんばってダイエットをし、スリムになる。
No.152	シンデレラ～ガラスの靴は贈り物～	通信教育の魔法講座で学び、資格を取得、二年間の実務をこなし、魔法使いとしてデビュー、魔法使いとしてのキャリアを積み、階級をあげる。自分と同じ境遇になる少女を舞踏会で王子に引き合わせる。ガラスの靴を使って。つまり、シンデレラを助けた魔法使いもかつてはシンデレラだった。ガラスの靴は代々選ばれし者に与えられる幸せの贈り物だった。 ○※
No.153	「シンデレラ」の赤ちゃん誕生	義母と義姉はシンデレラの子供を誘拐するが、失敗。義母は二度とシンデレラに悪事をしないという誓約書を書かせられる。 ■
No.154	「シンデレラ」のその後…	シンデレラの家を壊そうと、継母が魔法で、セクシーな若い女に変身。王子は自分が夢中になった相手が継母と知り、ショックを受ける。王子は謝り、シンデレラは継母に同情し、王子に頼んで、義姉たちにイケメンの友達を紹介させる。半年後に義姉達は結婚。 ▼
No.155	シンデレラ～ライバルは王子様～	シンデレラはふくよかになっていき、王子は愛想をつかす。教母様はライバルがいればやる気を出すと提案し、魔法で王子を素敵なお女性に変身。シンデレラは離婚させられることを恐れ、その美女をいじめる。
No.156	シンデレラ	王子は召使の一人と不倫。シンデレラは城をでて自分探しの旅に出る。 ☆▼
No.157	シンデレラ	血液型：シンデレラも王子もO型なのに、娘はB型、継母(魔力が移っていた)が病気の魔法をかけ、血液型を変えてしまっていた。
No.158	シンデレラのその後	王子が癌に、大病院で闘病生活を送る、シンデレラは王子を忘れようとガラスの靴を割る。離婚するが、よりを戻す。王子は奇跡的に助かり、ガラスの靴も元に戻る。
No.159	シンデレラのその後	娘エミリーは継母に誘拐される、助けたのは王子でなく、魔法使いのおばあさん。以後、シンデレラは王子を尻にしく。 ☆

	タイトル	ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×	
2008年度			
No.160	シンデレラのガラスの靴	ガラスの靴がカラスに運ばれ、悪人に宝石店に売られ、大富豪の手に渡る、川に流され、最後はシンデレラのもとへ戻る。以後シンデレラはどんなときも靴を放さない。	
No.161	『シンデレラ』とその後の物語	シンデレラは隣国の王子に一目ぼれ、国を追放され、隣国の王子と結婚。シンデレラと離婚した王子は若い娘と結婚したが、シンデレラを忘れられず、一生後悔する。	
No.162	シンデレラのその後	王子とシンデレラは実は双子の兄妹、大臣によってシンデレラは地下牢へ、その後消息不明、今でも古城の地下から女性のすすり声が聞こえる。	■
No.163	シンデレラの老後	ある日、病に倒れ、余命3ヶ月と診断、家族旅行の翌日、シンデレラは永眠。	□×
No.164	『シンデレラ』祝福パーティでのプチ事件	王子と結婚話の出でいた隣国の王女による「シンデレラ消去作戦」。シンデレラは森の古小屋に監禁されるが、魔法使いに助けられる。三つの願いをかなえてもらえることになり、隣国の王女は別の男性と結婚。	■
No.165	きつと、シンデレラにだって…	シンデレラは王子が世間知らずであることを怒り、一緒に世界旅行に出かけ、各国の貧しい人々に出会う。数年後2人には娘テレサが誕生。その子孫がマザーテレサである。	☆
No.166	ヘンゼルとグレーテルのお菓子な話	父の名はパティシエ。兄妹は菓子の家を探しに森へ、森にかかっていた魔法の魔法で菓子になり、お互いに食べ、口だけになってしまう。父親は菓子で2人の身体を作った。以後菓子を作る人をパティシエという。	
No.167	ヘンゼルとグレーテルへ続編へ	魔法を殺した呪いでこのまま生き続けると自分が魔女になってしまうので、グレーテルは自らかまどの炎の中へ（自殺）、義母も殺害（殺人）した。ヘンゼルは結婚したが、その妻（次の魔法）の腫と火傷の跡から、魔法の呪いは続いている（ヘンゼルは気づいていない）。	■×
No.168	ヘンゼルとグレーテルのその後の話	2人は父の後妻（継母）を魔女と思い、前と同様に釜戸に押し込み殺す（殺人）。森で赤頭巾と白雪姫にお菓子の家の場所を問う。	■
No.169	ヘンゼルとグレーテル	2人は父の死後、ケーキ屋を始め、店は大繁盛。	○
No.170	『ヘンゼルとグレーテル』のその後母と魔女	2人の母と魔法の死がほぼ同時期であることが気になるグレーテルが事実を解明する：母は継母で、魔法とは双子の姉妹、その魔法の呪いで2人は森に捨てられる運命だった。	
No.171	『星の銀貨』	少女は結婚するが、夫は暴力をふるい、ギャンブルで借金を作り、女と家を出て行く。彼女の涙は血になり、一人寂しく死ぬ。	×
No.172	星の銀貨の少女のその後	王子と結婚したが、繰り返される王子の浮気、姑（王妃）のいびりで、城を出る。王子は民衆に暗殺され、国は隣国に吸収される。	▼
No.173	桃太郎続編パートⅠ	桃太郎たちは醜い性格にかわる、鬼ヶ島へ再度行くが、怠けた生活を送っていたゆえ、完敗。無人島へ流される。	
No.174	桃太郎の続きはこうだった	桃太郎は完全ニート状態の30代のおっさん、川から流れてきたスイカから、スイカ畑を作る。スイカ産業の成功。スイカ畑を鬼たちに譲り、一寸法師に営められ、桃太郎は歌手になる。	
No.175	桃太郎の二度目の旅	桃太郎はギャンブルに手をだし、金を使い果たす、一寸法師と金太郎の3人で鬼退治に行き、殺され、海へ…そこで桃太郎は目を覚ます。以後、おじいさんおばあさんを大切にします。	
No.176	スイカ花子 (原作 桃太郎)	桃太郎が鬼が山へ鬼退治へ、川にスイカが流れてくる、中から女の子が…スイカ花子は桃太郎探しの旅へ。笹団子をわけてやった猫、豚、鶏が仲間となって同行。桃太郎たちを助け、鬼を退治し、全員でおじいさん・おばあさんの元へ帰る。	☆
No.177	雪女のその後	雪女は子どものことが忘れられず、近所のおばさんに化けて近づき、学校帰りに車に乗せ、お菓子で気をそらせ、雪国へ連れて行くが、夫似の体質から子どもを死なせてしまう。雪女は自殺。	×

タイトル		ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2008年度		
No.178	王子殺しのラプンツェル	妖精の呪いで醜くなったラプンツェルを王子は嫌になり、妖精の要求に従って子どもを渡し、城へ戻ると美人と結婚。ラプンツェルは王子を殺せば、子供を返すと妖精に言われ、王子を殺害、そのときに覚えた快感から、以後あらゆる国の王子を殺す。「王子殺しのラプンツェル」となる。 ■
2009年度		
No.179	青髭 ～お姫様のその後～	青髭の死から1年後、お姫様（民話では姫ではない）の枕元に毎晩青髭が立つようになった。実は姫は一人ぼっちで貧しい暮らしをしていたところを青髭に拾われたが、財宝を一人占めにしようと青髭と侍女たちを殺し、架空の家族を作り出していた。姫は警官に青髭殺害の容疑で逮捕され、一生を牢獄で終えた。 ■
No.180	赤ずきん	実は狼は母親の手下だった。母親が殺し屋をしていた狼に赤頭巾とおばあさんを殺し、証拠が残らないように食べるように頼んだ。二人を助けた猟師は借金を抱えて家を出て行った父親だった。父親は金のために殺し屋を始めたが、狼と妻の話を聞き、猟師のふりをして助けたのだ。赤頭巾とおばあさんは真実を知り、母親は二人に謝り、皆和解して、その後4人で仲良く暮らした。 ■
No.181	赤頭巾ちゃんの本当の結末	赤頭巾はおばあさんに会いに行く途中で、一人の婦人にケーキをご馳走になる。実はその婦人は殺された狼の妻で、ケーキには猛毒が入っていて、食べた赤頭巾は倒れた。その赤頭巾を食べた狼の妻と子ども達も猛毒にやられて死んでしまった。 ■×
No.182	結婚生活のゆくえ	姫は幸せな結婚生活を送っていたが、100年という空白の時間により、生活環境（テレビや携帯電話など）が大きく変わっていて、慣れるのが大変だった。しかも魔法の後遺症により、眠くならない身体になっていた。そこでやりたいことや好きなこと（趣味）に没頭した。三つ子の娘達は私立中学へ進学する。
No.183	眠り姫の眠りから覚めたその後	100年後、眠り姫はあまり容姿のよくない王子と結婚した。眠り癖がついてしまい、姫はどこでも眠くなってしまったので、王子は心配して家来を一人つけて供をさせた。結婚式の最中に姫は寝入ってしまった。男の子が生まれても姫はよく寝ていたの、王子は浮気するようになった。そこで姫は家来に王子を監視させたが、うまくいかず、自分で監視するようになり、「眠らず姫」と呼ばれるようになった。心身のバランスが崩れた姫は息子を連れて城を出た。姫はパン屋を営み、幸せにくらした。王子は反省し、一生かかっても姫を見つけ出し、終わりのない愛を貫くと決心した。そのような日は来るのだろうか？ ▼
No.184	その後の浦島太郎	お爺さんになって呆然としている浦島太郎のもとに亀が現れ、再び竜宮城へ連れて行った。太郎は乙姫様に元の姿に戻ってくれと懇願するが、竜宮城の存在を誰にも知られないために年老いて早く死んでもらいかったと乙姫は言った。ショックを受けた太郎は泣きだし、亀になだめられても戻ろうとしない。すると乙姫は魚に変身して海で暮らすことを提案する。太郎は老いぼれた亀になり、その後何十年も竜宮城で暮らした。
No.185	浦島太郎は腹黒い	玉手箱を開けた浦島太郎はお爺さんになったが、頭の回転は若いときと同じだった。身体は60歳、頭は18歳。乙姫に騙されて働く気失った太郎は、復讐したいし、金もほしいと思った。亀を探しに浜辺へ。そこで亀の卵を見つけ、温めると、海から亀が卵を奪われると思ってやってきた。お礼に亀は太郎を竜宮城へ連れて行く。乙姫が驚いて逃げ出した際に、化粧水を海水に、ファンデーションをセメントに変え、化粧台の下に隠れた。何も知らず化粧を始めた乙姫はひどい顔になった。太郎は乙姫から財布を奪って戻った。財布の中には現金やカードが沢山はいつていた。太郎は言った。「復讐成功」 ■



タイトル		ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×	
2009年度			
No.186	盗まれた家宝	ジャックは母と嫁と仲良くくらし、息子ジョンが生まれた。月日が経ち、切った豆の木の切り株から芽が出て、木が伸びていった。嫁は若い男と浮気をしていて、ジャックが大男から奪った金の卵を産む鶏と、歌う金のハーブを持って豆の木を登っていった。それから数年後、10歳になったジョンは鶏とハーブを取り戻しに出かけた。それから何百年もの間、鶏とハーブは何十回、何百回と空と地上を行ったり来たりした。	▼
No.187	こんなはずじゃなかった	城に着いた白雪姫は王子の両親に会い、王子の彼女のことを知る。王子は女癖が悪く、女の赤ちゃんを抱いた彼女がやって来た。結局、子どもを認知し、養育費と慰謝料を払うことで解決し、彼女は大金をもって城を後にした。白雪姫はだめ男に弱く、結婚した。3ヶ月経っても子どもができないので、病院で検査をすると、姫は子どもが授からない体質だったが、誰にも内緒にした。罪悪感にさいなむ姫は七人の小人の家へ行くが、夫婦の問題だからと姫を城へ帰した。王子に言い出せないでいるうちに月日がたち、主治医から姫の体質のことを知った王子は浮気を始めた。浮気の噂は国中に広まり、国民の支持率は急落し、王政は崩壊、城は取り壊された。王子は浮気相手の家に転がり込み、白雪姫は河川敷でホームレスになった。	▼
No.188	白雪姫の子孫	白雪姫の話は「人を簡単に信用してはいけない」という教訓のように代々子孫に語り継がれた。その子孫の一人ユキは自尊心が強く、妃の気持ちが理解できた。美少女でクラス委員を務めるユキは異性から人気があったが、ライバルのナツがいた。人気者のナツを殺そうと屋上から突き落とした。救急車で病院に運ばれたナツは一命をとりとめ、突き落とされたと言い、ユキを目撃したという者も現れ、ユキは逮捕されるよりはと屋上から飛び降り自殺した。その後生き延びたナツは人間不信になり、子どもに同じ思いをしないようにとこの話をし、代々語り継ぐように言った。白雪姫の話は受け継がれなくなり、代わりにユキの話がナツの子孫に受け継がれた。悪いのはユキではなく、ナツだとある少女が言った。	■×
No.189	白雪姫のその後	白雪姫は王子を結婚したが、王子の許婚は姫を憎み、二人を引き裂いてやろうとたくらんでいた。許婚はソフトクリーム屋になって毒入りソフトクリームを食べさせようとしたが二度も失敗、次に森の小屋へ手紙で呼び出すが、来たのは怪しんだ王子で、姫に近づくなと忠告した。許婚は家政婦に変装して城に忍び込み、王子と姫を危険な目にあわようとしたが、ことごとく失敗。ある日、毒入りケーキを二人に食べさせると、二人は倒れた。すると許婚は家来に捕われ、牢屋に入れられた。王子と姫は生きていて、許婚は一生牢屋で暮らした。	■
No.190	白雪姫のその後	王妃は死ぬ前に魔法で双子の妹に、自分の代わりに姫の幸せを壊すようにというメッセージを残した。王妃の妹は召使に変装して城へ。姫と仲良くなる。妹は姫の枕に毒を塗るが、姫は飲み物をこぼして枕を代えたため、助かった。次に毒リンゴを差し出したが、お腹いっぱいとは断られた。翌日、リンゴのお礼にとアップルパイを姫から貰った妹は食べて死んだ。この城の召使は王子からリンゴを姫に出すことを禁じられていたので、姫が召使(実は王妃の妹)が城の者ではないと気づいたのだ。白雪姫は美しさだけでなく、強運を持つ、頭のよい姫だった。	☆
No.191	その後の白雪姫	姫と王子が結婚して数年後、森の草むらに本がおちていた。不思議な葉の作り方が沢山載っていて、姫は「若返る林檎」を作ろうと、継母が使っていた部屋へ入った。急いで作ったため葉の分量を間違えた白雪姫は老婆になってしまう。それでも王子と一緒にいたいといってくれたので、今までどおり仲良く暮らした。	

タイトル		ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2009年度		
No.192	美しさの秘訣	白雪姫は王子と幸せに暮らしていた。年月が経ち、王は年老いたが、姫は美しいままだった。王が死んだとき、姫は嘆き悲しんだが、すぐに美男子の新しい王子を城に迎え入れた。今度の王子にも、姫は地下の部屋に入らないようにと約束させた。城内で夜中にうめき声があるという噂が立ち、王子が地下室を調べると、姫を殺そうとした義母と姉がいた。義母は魔女で、魔女の血液は不老不死の力があるというので、姫はその血を摂取することで美貌を維持していたのだ。見るも無残な姿の義母の心臓にナイフを突き刺す姫を王子は見てしまったため、姫に刺された。それから城にいた人々は姿を消し、誰もよりつかなくなった。しかし、今日も城の奥から声が聞こえる。 ■
No.193	欲ばりシンデレラ	王子と結婚して三ヶ月経つと、城の生活にも飽き飽きしてきた。シンデレラは謙虚さを失くし、我儘になっていった。ある日、隣国の王子の結婚式に出席するため、王子は1カ月ほど留守にした。その間にシンデレラの我儘はひどくなり、男遊びも激しくなった。王子が戻ったとき、シンデレラは30キロも太った醜い姿になっていた。王子は怒り、シンデレラを追い出し、昔のシンデレラのような優しい謙虚な美しい娘を新しい妃に迎えた。その後のシンデレラは想像にお任せ。 ▼
No.194	シンデレラの未来の予想図	シンデレラと王子は結婚、二人の子どもに恵まれた。現在5歳のジョンは温厚な性格でインドア派、2歳の娘エリザベスはしっかり者でアウトドア派。ある日、シンデレラより七歳年下の女の子エミーが召使として雇われる。やがて王子とエミーの不倫がシンデレラによって発覚、シンデレラは子どもを連れて城をでた。行き先がなく、生活のため、隣町で洋服屋を始める。店は繁盛する。3年後、王子を許す気になる。城の様子を見ようと潜入すると、王子が見つかる。エミーを辞めさせたこと、シンデレラとやり直したいことを王子から聞き、子どもを連れて城へ戻る。家族そろって幸せに暮らした。 ▼○
No.195	シンデレラのその後	結婚後、母親は国を追放されたが、残った姉妹たちはシンデレラに復讐することだけを考えて生きていた。ある日、シンデレラはいい年になり、子供が産めないのではないかと噂を姉妹は耳にした。若く美しい女性になりたいという姉妹の前に魔法使いのおばあさんが現れ、望みを叶える。12時まで好きな人にどちらが美しいか決めてもらい、選ばれた方は一生その姿でいられると言う。姉妹は王子の元へ行き、どちらか選ぶように頼むが、二人はそっくり同じ姿をしていたので王子は選べず、元の姿に戻る。二人のたくらみを知った王子は姉妹を国外追放した。魔法使いのおばあさんはシンデレラに子どもを授けた。
No.196	想像できなかった未来	王子と結婚後、シンデレラは魔法使いにお礼を言いたいと思っていった。1年後、魔法使いは姿を現し、一度魔法を使った人の前に現れるということは、魔法使いが人間に戻り、シンデレラが魔法使いになることを意味すると説明した。そう言う魔法使いは倒れ、気がつく、シンデレラのことを忘れていた。シンデレラは魔法が使えることを王子に内緒にして、町中の困っている人を呪文を唱えて助けた。
No.197	小さな天使 (シンデレラ)	シンデレラは王子と結婚して幸せな生活を送っていたが、3年経っても子どもができなかった。ある日、シンデレラの前に空からゆりかごが降ってきた。中には天使のような赤ちゃんが入っていた。天使からの手紙で、両親に死なれた子どもで、16歳まで愛情を育ててくれたら願いを一つ叶えようと書いてあった。王子と二人で、ダンテと名付けたその子を16歳まで育てた。16歳の誕生日に天使が降りて来たので、ダンテを自分たちの本当の子どもとして育てたいという願いをかなえてもらった。
No.198	シンデレラのその後のストーリー	結婚し、最初は苦労したが、次第に暮らしに慣れ、皆に好かれるようになった。ある日、城内を探検していると、召使のようなお婆さんに出会う。お婆さんの正体はあの魔法使いだった。実は本当は召使で、シンデレラに一目惚れした王子がシンデレラを城の舞踏会に呼ぶために、魔法使いの役をし、馬車や靴やドレスを用意したのだった。その後、二人は仲良くなり、シンデレラは王子の愚痴を漏らした。

タイトル		ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2009年度		
No.199	その後のシンデレラと王子	結婚した王子はマザコンで、ヘタレ王子で、お坊ちゃまで、何でもお金で解決しようとする。シンデレラが何より大切にしていたガラスの靴を山奥に住む魔女が盗んだため、シンデレラは寝込み、王子は一人で取り戻しに出かけた。一ヶ月経っても王子は帰らない。数日後、王子はケガをしばらくぼろになって帰ってきた。ガラスの靴は魔女との戦いの最中に割れて、粉々になっていた。シンデレラはそのかけらを大切に、一番大事なのは王子だと気づいた。
No.200	シンデレラのその後	王子は浮気癖があったので、シンデレラは大変なやきもち焼きとなり、王子を束縛していた。そんなシンデレラに嫌気がさしたイケメン王子は、また浮気をした。その相手は愛人になり、子どもも出来た。ある日、愛人が乗り込んで、修羅場となった。身の危険を感じた王子は遠く離れたところへ逃げた。そこでも別の女と家庭を持ち、子どもも一人生まれた。ある晩、シンデレラと愛人がナイフを持って立っていた。二人は王子と新しい女とその子を殺した。仲の悪かったシンデレラと愛人は王子のいい加減さに共感し、大親友となり、二人は愛人の子どもと三人で仲良く暮らした。 ■▼
No.201	結婚したあとのシンデレラ	王子と結婚したシンデレラは不自由な暮らしのため、肥大化し、メタボリックになってしまった。王子はシンデレラに愛想をつかし、家をあげ、義理の姉と不倫をしていた。ショックを受けたシンデレラはあらゆるダイエットを実行した。レコーディングダイエットとコアリズムに成功し、結婚当初の綺麗な姿に戻り、王子と仲良くなり、双子の赤ちゃんが生まれ、ヘタレ兄と気が強い妹に育った。幼稚園、小学校、中学校、高校と進み、部活に勧誘された。兄妹は一般人と結婚し、兄は城に残り、妹は一般人として暮らした。 ▼
No.202	シンデレラ 一人の人生を変えた日	結婚して5年、王子と結婚できなかったことでシンデレラを恨む娘シンドリリアがいた。自分より地位の低いシンデレラへの嫉妬が燃え上がる。王子とシンデレラに生まれた娘が4歳の誕生日に、シンドリリアはびっくりパイ投げ作戦を考える。ところが仕掛けたわなが自分にふりかかり、ケーキはシンドリリアへ落ちる。皆は楽しいパフォーマンスを見せてくれたと思い、ベストパフォーマンス賞をシンドリリアは獲得し、スカウトされ、世界へ羽ばたいていった。
No.203	シンデレラの婚約後	結婚してぐだぐだと過ごしていると王子に嫌われると思ったシンデレラは働こうと思い、城をきれいにしたが、翌日から家政婦にいじめられた。怒った王子は家政婦全員を派遣切りにした。また毎日のんびり暮らす生活に戻ったシンデレラは太ってしまい、ダイエットのため朝から晩まで働いた。満足するとまたのんびり生活。そしてリバウンド。何回も繰り返しているうちに、王子が太ったシンデレラも好きだと言ったので、シンデレラは日に日に大きくなっていった。
No.204	シンデレラの復讐	結婚後、王子は隣国との戦いに備えて準備すると城を出て、めったに帰らなくなる、帰っても様子がおかしい。言い争いが絶えず、シンデレラは部屋に閉じこもる。王子は義理の姉と浮気し、一緒に暮らしていた。他にも大勢女性がいた。シンデレラが王子には重荷になっていた。シンデレラはその事実を知ると、ショックを受け、精神的におかしくなり、自殺。数ヵ月後、王子はシンデレラの死を知り、反省。しかし、シンデレラの霊の怒りが王子にふりかかる。周囲の人間に、不可解な出来事が続出し、王子は部屋に閉じこもる。寿命がくるまで一生一人で過ごさなくてはならないというシンデレラの呪いにより、自殺も試みても実行できず、王子は苦しみ、やがて死んでいく。 ▼×
No.205	幸せなシンデレラ	王子の母はシンデレラにテーブルマナーを厳しく教え込み、忙しい王子は八つ当たりをする。ある日、泣いているシンデレラの前に妖精が現れ、お腹に命を宿し、この魔法は12時をまわっても消えないという。翌日以来、王子は喜び、母も気を使ってくれ、仲良くなる。子どもの誕生後もふたりは幸せに暮らした。妖精が現れることは二度となかった。 ※

タイトル		ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2009年度		
No.206	シンデレラ続編： ディズニーキャスト	シンデレラは王子と結婚後、東京ディズニーランドへ新婚旅行に出かけた。やがてシンデレラは息子クリスを出産。二年後に二人目、三年後に三人目が生まれた。王子とシンデレラは子ども3人を育て、東京ディズニーランドでキャストとして働くことになった。今も働いている。
No.207	長靴を履いた猫の 不満	猫は王宮の生活に満足していたが、風呂が大嫌いなので、毎日午前8時の入浴時間は猫にとって恐怖であり、地獄だった。脱走も失敗し、ストレスで頭にハゲができてしまった。我慢の限界になり、ある夜王宮から脱出し、以後行方不明となった。多分、育った麦畑でネズミを捕らえていることだろう。
No.208	長ぐつをはいたネコ その後…	三男のマイケルは猫のおかげで毎日がバラ色になった。暇をもてあましていたので、ピザのコンテストを開いた。コンテストには国中から大勢が参加し、マイケルは500枚くらいピザを食べ続け、優勝者を決めた。その後、ピザの味にハマったマイケルが専門店を開き、毎日行列ができるほどになった。
No.209	野獣の心	人間に戻った王子とベルにメアリーという娘が生まれた。甘やかされたメアリーは性格が悪く、いたずら好きで、国中の人が困り果てていた。人々に頼まれた魔女はメアリーの態度に怒り、呪いをかけ、醜い野獣に変えた。ショックを受けたメアリーは国を出て荒地へ辿り着くと、同じように野獣に変えられた王子がいた。二人は仲良くなり、性格も変わった。魔女が二人の呪いを解くと、二人は元の姿に戻った。しかし王子の姿を見たメアリーはイケメンではないと怒り、二度と会わないと吐き捨てる。魔女はそれを聞いていた。
No.210	ヘンゼルとグレーテルの家	ヘンゼルとグレーテルは父親に全てを話した。宝石を売り、お菓子をたくさん買って、三人でお菓子の家を作った。森の妖精たちも手伝ってくれたので、あっという間に出来上がった。集まってきた町の子ども達と、二人は仲良くなった。毎日見物人が溢れていた。お菓子の家は「ヘンゼルとグレーテルの家」と言う名で新聞にのり、世界中に知れわたった。三人で仲良くお菓子の家で暮らした。
No.211	おかしの国	兄妹は不自由のない生活に飽き、再びお菓子の家へ向かった。途中、宝石を森に落としながら。菓子の家で、菓子をお腹一杯食べた後、隠れた扉を見つ、中へ。地下へ続く長い階段を下りていくと、光が見え、その向こうには大きなお菓子の城が現れた。一人の小人が出迎え、二人は城の部屋へ。次から次へと小人が運んでくるお菓子を食べ、ついに城内の菓子を食べつくし、二人の姿は大きく膨れていた。元の姿に戻るまで百年かかり、その間一切食べられないと小人に言われ、二度と菓子の国から帰れなくなった。
No.212	魔女の思惑	ヘンゼルとグレーテルは家へ帰り、両親は自分たちの過ちを後悔したが、魔女やお菓子の家の話を信じなかった。そこで翌日、一家でお菓子の家へ入りお菓子を食べると、魔女が蘇り、二人をカエルに変えてしまった。魔女は両親に、カエルに沢山の愛情を注がないと元の人間に戻れないと言った。両親はカエルに愛情を注ぐ生活を送っていると、段々人間の姿になり、やがて人間に戻った。その後、四人は幸せに暮らした。
No.213	ヘンゼルとグレーテル：3人の未来	家へ戻ってから、ヘンゼルは小学校の先生を目指して勉強に励み、グレーテルは保育士を目指し、ピアノを習っている。母はすでに亡く、父は必死で働いていた。ヘンゼルは新聞配達、グレーテルはベビーシッターをして生活を支えた。10年経ち、ヘンゼルが24歳、グレーテルが22歳になり、希望通りの職に就いた。父は再婚し、継母は優しくった。その後二人は結婚し、子どもも生まれた。
No.214	ヘンゼルとグレーテルの裏話	魔女と継母は同一人物だったが、兄妹の父はそのことに気づいていない。継母は仕事と称して森に出かけていた。父親が子ども達とはとくに死んでいると思っていたら、兄妹は宝石を持って戻ってきた。グレーテルがポケットから出した魔女のネックレスは、継母がいつもつけていたものと同じだった。そこで魔女＝継母と気づいた。父は子ども達に謝り、三人で幸せに暮らした。

タイトル		ストーリーとその特徴 強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×
2009年度		
No.215	グレーテルのその後	魔女の家から兄妹が持ち帰ったものの中に魔法の本があり、グレーテルはその本を手にしてから変わり、魔女となった。数年後、美しくなったグレーテルは呪文を唱え、憎んでいた兄と父を砂に変えた。それから本とお気に入りの鏡をもってグレーテルは国王の後妻になった。義理の娘の名は白雪という。
No.216	ヘンゼルとグレーテルの裏話	当時のドイツは極貧の家庭が多く、ヘンゼルとグレーテルも殺しを遊びとしていた。両親はそんな二人を森へ捨てることにした。二人は森で魔女に会い、魔女狩人から守ると約束し、三人一緒に暮らす。しかしグレーテルは魔女をかまどに押しこみ、薪拾いから帰ったヘンゼルは魔女を食べた。その後、二人は魔法を使えるようになり、宝石を持って帰宅し、両親を殺し、幸せに暮らした。
No.217	星の銀貨のその後	女の子は落ちてきた銀貨も買った服も貧しい子供たちに分け与え、また裸になってしまう。事故で歩けなくなった男の子に足をあげ、眠ってしまおう。すると、沢山の金貨が落ちてきて、足も元通りになっていた。町で貧しい人たちにまた金貨や服を配った。今度は盲目の子どもに会い、目をあげる。女の子は眠り、幸せな夢を見る。空から星が降り始め、あたり一面が光に包まれた。翌日、広場にきた町人は木の下で女の子が死んでいるのを見つけた。女の子の周囲には金貨が落ちていて、木には金貨が沢山になっていた。金貨は使っても減らず、以後、貧しい人々はいなくなり、皆幸せに暮らした。
No.218	その後の桃太郎	家に帰った桃太郎はお爺さん・お婆さん・仲間達と仲良く暮らしていた。ある日、おばあさんが病気になる、病状が悪化。おばあさんは死ぬ前に、桃太郎の嫁が見たいと言う。だが、村には若い女性はおらず、悩んだ桃太郎は寝込んでしまう。ある日、おじいさんが川で洗濯をしていると大きな梨が流れてきた。中から女の子が出てきて、梨子と名付けられた。梨子の作ったきび団子を食べたおばあさんは元気になった。翌朝、出かけていた犬や猿が戻ってきて、梨子に木の実を食べさせると、大人の姿になった。桃太郎もきび団子を食べた元気になり、ふたりは結婚した。皆幸せに暮らした。
No.219	出会い	桃太郎は持ち帰った米や宝を質屋へ売り、大金を手に入れた。おじいさんとお婆あさんはきび団子屋を開き、繁盛した。三人は金持ちになり、バリアフリーの城を建てた。団子屋の常連客の娘メアドとメールのやり取りをしているうちに、桃太郎は求婚した。その娘は鬼の子どもで父の仇を討ちに来たのだが、次第に桃太郎に惹かれ、すべてを打ち明ける。桃太郎は気持ちちは変わらないと言ったが、娘は島へ戻った。
No.220	桃太郎のお嫁さんの物語	村に戻った桃太郎にお爺さんとお婆さんは、お嫁さん募集の張り紙を家の前に張った。条件は朝昼晩と毎日おいしいご飯を作ってくれることだけだった。その直後、お爺さんとお婆さんは亡くなった。桃太郎は張り紙を見て来てくれた村の女達の手料理を食べて決めようと思った。最後に出てきた隣家の女の白いご飯と味噌汁がお婆あさんのと同じ味だったので、その女を嫁に決めた。お婆あさんの手伝いをして教えてもらったのだ。それから桃太郎はその嫁と幸せに暮らした。
No.221	トマ子姫を助け出せ！	街外れの小さな村に若い夫婦が暮らしていた。夫が畑を耕しに行くと、大きなトマ子姫がなっていたので持ち帰って切ると、中から可愛い女の子が飛び出してきた。トマ子と名付けられ、国一番の美少女となった。ある日、トマ子は鬼にさらわれ、鬼ヶ村へ連れて行かれた。鬼退治から無事戻った桃太郎たちの元へトマ子の知らせが入り、一行は鬼ヶ村へ。悪戦苦闘したが、鬼達を倒し、トマ子を助けた。村へ帰った桃太郎とトマ子は夫婦となり、いつまでも幸せ暮らした。
No.222	ルンベルシュティルツヘン ～もう一人の小人～	妃は第二子を出産。ある日、部屋の中に金の糸が3個転がっていた。扉の下に小人が立って、金糸は兄が作ったと言う。金糸が残り少なくなってきたため、王は妃を脅して再び作らせようとしていた。それを知った妃は母の妃を助けるため、小人にブレスレットと靴をあげて金糸を作ってもらった。王は妃と妃に地下の全ての部屋にあるわらを金糸にしないと命がないと脅す。そこへ現れた小人に王を差し出す約束をして妃はわらを金糸に変えるよう頼む。それからは妃は女王様となり、10年後、他国の王子を結婚し、第二子は王になるべく、勉強や訓練に専念した。

		ストーリーとその特徴	
タイトル		強い女性☆ 働く女性○ 学習※ 主人公の病気□ 不倫・浮気(主人公&伴侶)▼ 犯罪(窃盗・拉致・殺人など)■ 主人公の死×	
2009年度			
No.223	ルンベルシュティルツヘン	王女は王に、良い結婚話が持ち上がったので、三日後に式を挙げると言われ、泣いてしまう。ある晩、床の染みに声をかけられ、事情を話すと、染みは王が諦めるようにしてくれると言うので、王女は王冠をあげた。翌日、結婚相手の足がなくなったので王は結婚を諦めようとしたら、妃が反対した。そこで王女がまた泣いていると、昨日の声が出て、金の剣と交換に、妃が結婚を諦めるようにしてもらった。結婚相手の手がなくなったので妃が結婚を諦めようとすると、城中の者が反対した。また王女が泣いていると、また声が出て、金の指輪と交換に城中の人が諦めるようにしてしてもらった。翌日、結婚相手の首がなくなり、結婚はなくなった。染みは小人の姿を現し、姫が名を知りたいというと、小人は名を忘れてしまったと泣き出す。すると小人の涙が床に文字をあらわし、王女がルンベルシュティルツヘンと言うと、小人は人間の男性に変わった。翌日、王女は城から姿を消し、皆が探したが、見つからなかった。	
No.224	ルンベルシュティルツヘンのその後	地面に足がうまったルンベルシュティルツヘンを王妃は家来に命じて助けた。家来はその後をつけ、家に行くと、ルンベルシュティルツヘンの妻が怒鳴っていた。妻が子宝に恵まれなかったので、王妃の子どもを望んだのだ。家来はルンベルシュティルツヘンを城で働くよう誘う。王妃も承諾した。数ヶ月後、子どもの姿が見えなくなり、誤解した王と王妃はルンベルシュティルツヘンを射殺してしまう。しかし犯人はその妻で、計画したのはあの家来だった。家来が別の家来に話したことで、事実を知った王はその家来を死刑にし、城にルンベルシュティルツヘンの名誉をたたえる銅像を作り、彼のことを思いながら、家族三人幸せに暮らした。	■

### 3. 学生による続編の特徴

692に及ぶ続編をさまざまな角度から分析した結果を以下に述べてみよう。

#### 1) 強い女性、自立する女性

近頃の現象として草食系男子という言葉が流行っているが、その影響からか、本来の民話の受身の女性と違って、たくましく強いヒロインが学生に好まれるようである。その傾向は2004度からすでに見られていた。「狼殺しの赤頭巾」を初めとして、狼を殺す側に回る赤頭巾が続編では大勢登場する。力を取り戻した鬼に捕まった桃太郎を助けに、川を流れてきたスイカから生まれたスイカ花子が猫・豚・鶏を伴って活躍するのはほほえましい。今度は自分だけでなく娘（王女）にもわらを金糸にするよう強要する王をルンベルシュティルツヘンに差し出すことで、娘を救うだけでなく、金糸（財産）も王国も手に入れて女王になる妃はしたたかで逞しい。

現代社会を反映して、働くヒロインや自立するヒロインも多く登場する。パティシエや看護師や幼稚園教諭や警察官になる赤頭巾、過去の経験から心身ともに強くなろうと剣術・武術を勉強

して王女のボディガードになる赤頭巾、娘が結婚して時間ができたことからデザイナーになる  
いばら姫、靴のデザインだけでなく、ドレスやアクセサリーのデザインも手がけるシンデレラ、  
アップルパイ専門店を開く白雪姫は人気パティシエとして世界中を飛び回る。頼りにならない王  
子を見限り、息子を連れて城を出た眠り姫はパン屋を開業。魔女に襲われた災難を逆手にとって  
森から持ち帰ったお菓子で、グレーテルは「魔法のお菓子屋」をヘンゼルと共同で出店する。そ  
の後、ヘンゼルとグレーテル兄妹の子孫は代々菓子屋を営むというから、商才に長けていたのだ  
ろう。また、新聞配達をする兄と共に、ベビーシッターのアルバイトをして生活を支え続けたグ  
レーテルは希望通り保育士になる（兄ヘンゼルは小学校の教師になる）。父の死後、兄と一緒に  
ケーキ屋を始め、大繁盛するグレーテル。帰った月の世界はデジタル社会になっていて、健康グ  
ッズの会社社長として成功を収めるかぐや姫は知的で順応性に溢れている。しかし、ここまでい  
くと、グレーテルもかぐや姫も民話のヒロインの面影はなく、民話から抜け出たキャリアウーマ  
ンと言える。

上記のヒロインたちは自らの意志で仕事を選択しているが、王室や国の財政難により、やむな  
く働くヒロインもいる。借金返済のためにシンデレラは他の城の召し使いをし、王子は牧場の仕  
事につく。城と城下町の財政難のために、白雪姫はリンゴの菓子屋を始める。職種については触  
れていないが、王子の浮気に愛想をつかしたシンデレラや白雪姫の中には昔の女性のように耐え  
ることはせず、城を出て働く者もいる。さらには王子の浮気癖に愛想を尽かし、身ごもった身体  
で離婚し、シングルマザーとして娘を産み育てる白雪姫もいて、まさに「母は強し」である。こ  
うした姿は現代女性の共感を呼ぶのであろう。

仕事は仕事でも悪事専門もいる。シンデレラの正体は結婚詐欺師で、何人もの金持ちの男性を  
騙し、何人もの王子と結婚したという。意地悪な姉2人も実は共犯者で、今回も王子を湖に突き  
落とし、王達が救助している隙に、王子の全財産を持って国を出る。こうして捕まることなくシ  
ンデレラの悪事は続く。確かにこのシンデレラは悪人だが、学生が好意をもって描いているせい  
か、不思議と憎めない。現実社会では長年にわたって身勝手な男性に泣かされて続けた女性た  
ちに代わって、ヒロインが積年の恨みを晴らしているからかもしれない。

殺人を犯すヒロインも強くて怖い存在である。王子と継母が実は共犯者だと知った白雪姫は2  
人を殺害し、王子の財産を自分のものとし、新しい王子と幸せに暮らす。この白雪姫に罰は下ら  
ない。正当防衛だとしても、先手を打って敵を倒し、財産を我が物にした上で、自分の新しい幸  
せを築くという行動がスピーディにできるのは、心身ともに強靱な女性であることを証明してい  
る。自立や仕事とは程遠いが、強い女性の番外編としては、乙姫が実は魔物で浦島太郎を食べて

しまうという続編がある。あっさり食べてしまうことでその恐ろしさが一層強く感じられる。

男女雇用均等法が定着した時代に育った現代の女子学生は民話の典型的な女性、つまり自分では何もできず、ひたすら助けを待ち続けるという受身の女性には満足していないのだろう。待っているだけでは幸せにはなれない、自分が強くなければならない、王子と言えども頼りにならない時もある。最後に頼れるのは他ならぬ自分なのだと考え、心身ともに自分を磨き、鍛え、前向きに人生を歩む自立型ヒロインが多く目に付いた。これは次にとりあげるキャリア意識と共に、現代女性の生き方が続編の中に強く反映している証拠である。

「昔話の主人公はそもそも自己の決断に基づいて生きてはいない。課題、助言、贈り物、あらゆる種類の援助によって導かれている」<sup>3</sup>という。しかし一方では、「昔話は何百年もの間、繰り返し語り継がれているうちに、だんだん洗練されて、まだ教育を受けていない子どもの心にも、世の中を知り尽くした大人の心にも受け入れられる…」<sup>4</sup>のであるから、すぐには変わらないまでも、何百年後には、民話の世界の主人公たちは男女とも同等の立場で自己の決断に従って運命を切り開くのかかもしれない。

## 2) キャリア意識

ここ数年の間に大学教育のカリキュラムも大きく変動し、キャリア教育がさまざまな形でとりいれられるようになってきている。埼玉女子短期大学でも2005年度から「キャリアデザイン」が必修科目になっている。その影響だろうか、学生の描く民話の続編にも先にとりあげた仕事を持つヒロインが大勢登場するほかに、自己分析、自分探しという言葉が作品内に見られるようになり、数は少ないが、明らかに主人公のキャリア意識を描く続編が誕生している。前回の紀要でも取り上げたが、2005年の桃太郎（「10年後の桃太郎」）は英雄となり天狗となったため、皆に愛想をつかさ、孤独となり引きこもり状態に陥ったところへ、復讐を諦めた子鬼が桃太郎に「人生とは何か」を説教をする。その後、桃太郎は反省し、金太郎をコーチとして迎え、訓練を受け、再び過去の栄光を取り戻す。2007年になると、卒業後の自分の姿が具体的に描けない学生の姿そのままを思わせるシンデレラの話（「The Cinderella Story」）が登場する。結婚後の退屈な日々とうんざりするシンデレラは、このままでいいのかと自問するが、妖精に考えるよりまず行動することを勧められ、城を離れて旅に出る。その1年と99日後には王子も城を出る。続編の最後の行になっても、まだ城へ戻ってこないことから、シンデレラも王子も自分探しの旅を続けていて、書いた学生自身もまだ自分の進路が決まらないまま提出日を迎えたのだろう。2008年では王子の不倫をきっかけに城を出て自分探しの旅にでるシンデレラや、悩んだ末、やりたいことに気づ



き、目標に向かって突進する主人公が現れる。「今までの自分を振り返り、やるべきことを見極めなさい」という不思議な声を聞き、自我に目覚め、猛勉強して、名門大学の医学部へ入学し、動物病院の医師になる金太郎がその代表格である（妻の赤頭巾は看護師になり、助産士の資格も取得「金太郎のその後の話」）。やりたいことが見つかった学生か、あるいはまだ迷っている学生なのかは定かではないが、いずれにしてもこの続編を書いた学生が自分のキャリアの方向性を真剣に考えていたことは間違いないだろう。

スキルアップもキャリア教育の一環である。作法・挨拶・立ち振る舞いを学び、前向きに努力するシンデレラや厳しい妃教育に苦勞するシンデレラなど、学生自身が自分に不足していると感じているマナーを学ぶシンデレラは、調査を始めた2004年から2009年に至るまで毎年登場する。王家に嫁いだシンデレラが言葉使い、礼儀作法、立ち振る舞いを身につけるという学習に加えて、内面の品格形成に努めるという展開の仕方が最近では目立つようになってきた。2007年のシンデレラは豊かな食生活によって20年経つと肥満体型になるが、内面が磨き上げられているため、王子は笑顔と愛情でどんな体型になっても受け止めてくれる。2008年のシンデレラは王子の母にテーブルマナーを厳しく教え込まれ、泣いていると再び妖精が現れ、子どもを授かる。妊娠したことでシンデレラは精神的に成長し、姑も気をつかってくれるようになるといういささかメロドラマのような展開だが、結婚前後もシンデレラは苦勞を越えて幸せをつかむという点ではいつの時代も変わらないようだ。

子育てを考へての職業選択と目標に向けての勉強は、まさにキャリアデザインとスキルアップの世界である。その例として、赤頭巾は狩人との結婚後、猛勉強して警察官になり、子育て中は仕事から離れるが、後に仕事に復帰する（2006年）。子育て中は仕事を離れるという考え方は根強く、2007年のシンデレラは人の役に立つ仕事をしているが、第二子出産後は仕事を休んで家のことに専念する。仕事も子育ても大事と言う学生が、続編の中で自分の将来を真剣に考えているのが伝わってくる。

最もユニークで面白いストーリーだったキャリアものは、資格取得を目指す2008年の『シンデレラ』の続編である。「シンデレラ～ガラスの靴は贈り物～」のシンデレラは通信教育の魔法講座で学び、資格を取得、2年間の実務を経て魔法使いとしてデビューする。その後も魔法使いとしてのキャリアを積み、階級をあげ、自分と同じ境遇の少女をガラスの靴を使って、舞踏会で王子に引き合わせるというこの続編は、本人も楽しんで書いたと言っただけに非常に面白い。資格取得を目指す短期大学の学生に相応しい内容でほほえましい。

キャリア関係といっても明るい要素だけがとりあげられているわけではない。それまでのレポ

ートに見られなかったニートという用語が2008年には登場する。「桃太郎の続きはこうだった」の桃太郎は完全ニート状態の30代のおっさんだった。川から流れてきたスイカから、スイカ畑を作り、スイカ産業は成功する。物語の最後はハッピーエンディングだが、前半は暗く重たい。それにしても民話の中にニートという言葉が出てくるとは予想外だった。

### 3) 生と死

#### ①結婚と子ども

子どもの少子化が政府の掲げる対策にとりあげられるほど重要視される問題となり、結婚しない女性が増え、結婚の高齢化が進む現代だが、女子大生が結婚や出産に関心が高いことはレポートの内容から容易に推察できる。彼女達が選んだヒロインたちの多くが出産しているからだ。その状況を表にしてみた。表Cは主人公（男女問わず）の子どもの数と性別（名前）と伴侶（ヒロインの場合は子どもの父親となる男性）を並べてある。表Dは登場回数の多いヒロインのみに絞って、その出産状況をまとめたものである。全く子どもを持たないヒロインもいれば、7人も出産するヒロインもいる。この2種類の表を見ると、学生の結婚や子どもへの考え方が見えてくる。

表C 主人公の子どもと伴侶（あるいは子どもの父親または母親）

	民 話	子どもの数	子どもの性別（名前）	伴侶(子どもの父親・母親)
2004年度				
No.1	赤頭巾	1	娘	猟師の息子ピーター
No.2	赤頭巾	0		狩人
No.3	赤頭巾	たくさん	性別不明	猟師（実は王）の孫（王子）
No.4	赤頭巾	0		狼（実は王子）
No.5	いばら姫	1	娘	王子
No.6	いばら姫	1	息子オルセン	王子
No.7	いばら姫	1	娘	王子
No.8	いばら姫	1	娘	王子
No.9	12人の踊るお姫様	1	娘	王（元兵士）
No.10	白雪姫	2	娘2、クリスとローズ	王子
No.11	白雪姫	7	娘7	王子
No.12	白雪姫	1	娘	王子
No.13	白雪姫	1	娘美雪姫	王子
No.14	白雪姫	△	妊娠中	4番目の小人(王子の死後、夫に)
No.15	白雪姫	3	性別不明	王子
No.16	白雪姫	1	息子	王子
No.17	白雪姫	1	娘音姫	王子
No.18	シンデレラ	1	娘	王子
No.19	シンデレラ	1	娘ジュリエット（白い肌、金髪）	王子
No.20	シンデレラ	1	性別不明	王子

	民 話	子どもの数	子どもの性別（名前）	伴侶(子どもの父親・母親)
2004年度				
No.21	シンデレラ	2	男女の双生児	王子
No.22	シンデレラ	2	性別不明	王子
No.23	シンデレラ	2	息子と娘、トムとマリア	王子
No.24	シンデレラ	1	娘	王子
No.25	シンデレラ	1	息子	王子
No.26	シンデレラ	2	双子の娘	王子
No.27	シンデレラ	1	娘ゆきの	王子
No.28	シンデレラ	1	娘ローラ（黒い瞳、黒髪、白い肌、ぐれるが隣国の王妃に）	王子
No.29	シンデレラ	2	性別不明(シンデレラは第一子を殺害する)	王子
No.30	シンデレラ	3	娘2息子1（双子のヘンゼルとグレーテルとその妹赤頭巾）	王子
No.31	シンデレラ	2	息子と娘	王子
No.32	シンデレラ	1	ロビン王子（20歳になるとガラスの靴をもって嫁探しの旅に）	王子
No.33	シンデレラ	2	息子と娘	王子
No.34	シンデレラ	1	娘	王子
No.35	シンデレラ	1	性別不明	王子
No.36	シンデレラ	1	息子(その前に魔法で犬王子を出産している)	王子
No.37	シンデレラ	1	息子・ロック王子（24歳で即位）	王子（王に即位していた）
No.38	トム・ティット・トット	1	娘（の王女は結婚する）	王
No.39	火打ち箱	1	息子	王（元兵士）と王女
No.40	火打ち箱	1	息子（隣国の姫と結婚、その子供誕生）	王（元兵士）と王女
No.41	桃太郎	2	娘・桃姫(後に、巴と改名)と息子・菊太郎	妻・菊姫
No.42	桃太郎	0		妻・兎(結婚により娘に戻る)
No.43	ラプンツェル	2	男女の双生児バジルとカモミール	王子
No.44	ルンバシュティルツヘン	1	娘（王女だが木こりと結婚）	王
2005年度				
No.45	赤頭巾	1	娘8歳（黒頭巾）	記載なし
No.46	いばら姫	2	息子（王子、魔女にかけられていた魔法がとけ、美しい女性に戻った娘と結婚）、娘（王女、王子とは15歳違いの妹）	王子（と思われる）
No.47	いばら姫	3	娘（王女）	王（王子が即位した）
No.48	浦島太郎	1	性別不明	乙姫
No.49	えんどう豆の上に寝たお姫様	3	性別不明	王子
No.50	三匹のこぶた	3	（生き残った末っ子の）子ども3匹	嫁（ブタ）
No.51	白雪姫	1	娘・白雪娘	王子
No.52	白雪姫	1	娘・かれん	王子
No.53	白雪姫	1	娘・小雪	王子
No.54	シンデレラ	2	男女の双生児	王子
No.55	シンデレラ	1	娘・王女クリスタル(義姉の息子と結婚)	王子
No.56	シンデレラ	1	性別不明	王子
No.57	長靴を履いた猫	1	息子（3歳～6歳）	カラバ公爵夫人（妻）
No.58	長靴を履いた猫	1	姫	カラバ公爵夫人（妻）
No.59	美女と野獣	2	娘イザベルと息子ウィリアム	王子
No.60	ヘンゼルとグレーテル	0		グレーテルは王子と結婚

	民 話	子どもの数	子どもの性別（名前）	伴侶(子どもの父親・母親)
2006年度				
No.61	赤頭巾	1	性別不明	狼
No.62	赤頭巾	0		狼(実は魔法にかけられた王子)
No.63	赤頭巾	6	性別不明	狩人(離婚して赤頭巾と再婚)
No.64	いばら姫	1	息子	王（王子が即位した）
No.65	いばら姫	2	息子2人	王子
No.66	恋人ローラント	2	双子の娘(ローラントの子どもは流産する)	羊飼(ローラントと別れる)
No.67	三匹のこぶた	1×3	三匹のそれぞれに子どもが一匹ずつ	それぞれの奥さん（豚）
No.68	三匹のこぶた	5	5つ子	妻（豚）
No.69	ジャックと豆のつる	1	性別不明	助けた美女＝妻
No.70	白雪姫	1	娘・舞雪姫	王子
No.71	白雪姫	7	七つ子（性別不明）	王子
No.72	白雪姫	1	息子・エメラルド王子	王子
No.73	白雪姫	1	娘（小人がその目を抉り取って食べる）	王子
No.74	白雪姫	1	娘	王子
No.75	白雪姫	7	結婚して七年後、七人の小人にそっくりな七つ子。さらに30年後、孫誕生（28人家族）？ 孫12人か？	王子
No.76	白雪姫	1	娘・白雲姫	王子
No.77	白雪姫	2	娘と息子	王子
No.78	白雪姫	7	七人の美しい女の子、後に七人の小人(実は魔法をかけられていた若くりりしい王子)と結婚	王子
No.79	白雪姫	1	赤ちゃん（性別不明）	王子
No.80	シンデレラ	1	娘・白雪姫	王子
No.81	シンデレラ	1	子ども	少年シモン
No.82	シンデレラ	2	男女の双子	王子
No.83	シンデレラ	1	息子ジョン（結婚して数年後に誕生）	王子
No.84	シンデレラ	1	息子ジョニー（息子を救うため、シンデレラは死ぬ）	王子(男手一人で子育てする)
No.85	シンデレラ&白雪姫	1×2	それぞれ娘が誕生、シンデレラの娘には息子が生まれ、美しくハンサムな完璧な少年に	王子
No.86	シンデレラ	1	結婚して数年後に息子フランソワ誕生、後に優しい娘と結婚	王子
No.87	シンデレラ	1	娘シャイニー	王子
No.88	シンデレラ	1	娘（恋におちた青年と結婚する）	王子
No.89	シンデレラ	1	娘（16歳になると城を飛び出すが、戻る）	王子
No.90	シンデレラ	2	娘	王子
No.91	シンデレラ	1	娘メアリー	王子
No.92	桃太郎	0		姫
2007年度				
No.93	赤頭巾	0		靴磨きの少年ハンス(同年齢)
No.94	赤頭巾	1	娘ユキ	狩人
No.95	赤頭巾	0		狼（人間の男になっていた）
No.96	赤頭巾	0		同年齢の男の子
No.97	赤頭巾	1	性別不明	記載なし

	民 話	子どもの数	子どもの性別（名前）	伴侶(子どもの父親・母親)
2007年度				
No.98	赤頭巾	1	息子デイビット	王の息子ジャック
No.99	赤頭巾	1	一人娘「空頭巾」	記載なし
No.100	赤頭巾	0		狐師
No.101	一寸法師	3	性別不明	姫
No.102	いばら姫	1	娘オーロール	王（姫も王妃になっている）
No.103	いばら姫	1	娘	王（姫も王妃になっている）
No.104	かぐや姫	1	「子供に恵まれる」	記載なし
No.105	三匹の子ぶた	3	息子＝長男ピッグ、次男ピッケ、三男ピッコ	記載なし
No.106	ジャックと豆のつる	1	性別不明	魔女から救った女の子
No.107	ジャックと豆のつる	0		豆をくれたおじいさんの孫娘
No.108	ジャックと豆のつる	0		村のお姫さま
No.109	ジャックと豆のつる	1	娘	記載なし
No.110	白雪姫	3	性別不明	王子
No.111	白雪姫	1	娘	王子
No.112	白雪姫	1	娘 雪奈姫	王子
No.113	白雪姫	1	娘（王子と結婚、その娘である白雪姫の孫は白い肌と紅い唇をしている）	王子
No.114	白雪姫	2	双子の娘	王子
No.115	白雪姫	1	娘 白薔薇姫	王子
No.116	白雪姫	3	息子1娘2 長男は隣町のお姫様と結婚、長女は隣町の王子と結婚、次女は貴族の息子と結婚	王子
No.117	白雪姫	2	男女の双子	王子
No.118	白雪姫	1	娘 白桃姫(美しくなるわが子に白雪姫は嫉妬)	王子
No.119	白雪姫	1	可愛い女の子	王子
No.120	白雪姫	1	息子	王子
No.121	白雪姫	1	娘	王子
No.122	白雪姫	1	妊娠中（「子供を宿していた」）	王子
No.123	白雪姫	3	一人は娘	王子
No.124	白雪姫	1	娘	王子
No.125	白雪姫	1	赤苺姫	王子
No.126	白雪姫	1	性別不明	王子
No.127	白雪姫	2	男女の双子	王子
No.128	シンデレラ	1	性別不明（シンデレラに殺害される）	王子
No.129	シンデレラ	3	娘3（悪魔にさらわれるが、助かる）	王子
No.130	シンデレラ	1	性別不明（赤ちゃん）	王子
No.131	シンデレラ	1	王子にそっくりな男の子	王子
No.132	シンデレラ	1	娘	王子
No.133	シンデレラ	1	娘（紛失したガラスの靴を見つけた靴屋の息子と結婚）	王子
No.134	シンデレラ	1	性別不明（赤ちゃん）	王子
No.135	シンデレラ	2	男女の双子	王子
No.136	シンデレラ	2	性別不明	王子
No.137	シンデレラ	2	男の子（小人トム・クレーに似ている）	王子？
No.138	シンデレラ	1	息子（18歳で不良に）	王子
No.139	シンデレラ	1	性別不明（赤ちゃん）	王子

	民 話	子どもの数	子どもの性別 (名前)	伴侶(子どもの父親・母親)
2007年度				
No.140	シンデレラ	2	息子ジャック、二人目は女の子	王子
No.141	シンデレラ	1	娘メルロ (16歳のとき、悪人に誘拐されるが、助かる)	王子
No.142	シンデレラ	2	男女の双子 (ニックとキャサリン、20歳になるまで描く)	王子
No.143	シンデレラ	3	結婚3年後に娘、さらに3年後に息子、さらに3年後に娘	王子
No.144	シンデレラ	1	娘 (婿をとらず、父親=王子と暮らす)	王子
No.145	シンデレラ	2	醜い娘、可愛い娘	王子
No.146	シンデレラ	1	息子デップは20歳で嫁をもらい、孫3人誕生	王子
No.147	シンデレラ	0		元ねずみだった男と再婚
No.148	シンデレラ	1	娘 (再婚相手には息子がいた)	王子、その後、愛人のもとへ
No.149	シンデレラ	1	性別不明 (赤ちゃん)	王子
No.150	シンデレラ	1	娘ランデリア (白い肌、金髪、青い瞳)	王子
No.151	シンデレラ	2	義理の子供2 (王子と前妻との子ども2人をひきとる)	王子
No.152	シンデレラ	1	娘シャンデリア (城に飾られたシャンデリアのように人を照らす優しい光のようであってほしい)	王子
No.153	シンデレラ	3	息子3	王子
No.154	シンデレラ	1?	子ども (胎内)	王子
No.155	シンデレラ	1	性別不明	王子
No.156	シンデレラ	3	息子2、娘1	王子
No.157	シンデレラ	2	2人に似ていない子ども (殺害)、シンデレラそっくりの美人の子ども (二人目)	王子
No.158	シンデレラ	1	娘ヒメデレラ (白い肌、金髪)	王子
No.159	シンデレラ	1	色白で金髪の女の子	王子
No.160	シンデレラ	1	娘マリア (ジャックと結婚)	王子
No.161	シンデレラ	3	性別不明	王子
No.162	シンデレラ	1	娘ローラ	王子
No.163	シンデレラ	1	娘ローズ (バラのように美しい子にそだって欲しい)	王子
No.164	シンデレラ	3	娘3 (行方不明に、実は継母が育てていた)	王子
No.165	ハンスはりねずみぼうや	2	娘、息子	后
No.166	美女と野獣	1?	妊娠中 (これから生まれる赤ちゃん)	王子
No.167	ヘンゼルとグレーテル	2	ヘンゼルの子ども2人 (兄妹)	妻 (記載なし)
No.168	ヘンゼルとグレーテル	1	ヘンゼルの娘エリゼ	妻
No.169	ヘンゼルとグレーテル	不明	子どもたち (子孫まで記載)	記載なし
No.170	桃太郎	1	娘桃子	隣村の裕福な家の美しい娘花子
No.171	ルンバシュティルツヘン	1	娘エリゼ	王
No.172	ロバの皮	1	息子フィリップ王子 (9歳)	王
2008年度				
No.173	赤頭巾	0	赤頭巾の弟、青頭巾の誕生	母親と狼 (人間になる) が結婚
No.174	赤頭巾	0		猟師の息子
No.175	赤頭巾	0		狼の息子
No.176	赤頭巾	0		狩人の息子

	民 話	子どもの数	子どもの性別（名前）	伴侶(子どもの父親・母親)
2008年度				
No.177	赤頭巾	0		猟師の息子
No.178	赤頭巾	0		ルカ（実は吸血鬼）
No.179	赤頭巾	0		狼（葉でイケメンになる）
No.180	赤頭巾	0		イケメンの少年
No.181	赤頭巾	0		森の守りシン
No.182	赤頭巾	1	娘ピンク	彼
No.183	赤頭巾	0		狼を殺した王子
No.184	赤頭巾	0		狩人の息子(3人いる子どもの一人)
No.185	いばら姫	1	娘（王女）	王子
No.186	かえるの王様	1	息子	王子
No.187	かぐや姫	1	息子光龍は訳あって地球にいる、貧しい青年音也が育てる	月の者
No.188	金太郎	たくさん	子どもがたくさん生まれる	赤頭巾
No.189	ジャックと豆のつる	1	性別不明	妻
No.190	白雪姫	1	娘（女の赤ちゃん）	王子
No.191	白雪姫	1	娘小雪姫	王子
No.192	白雪姫	1	性別不明（赤ちゃんミジェット）	王子
No.193	白雪姫	1	娘	王子
No.194	白雪姫	1	娘（女の赤ちゃん）	王子
No.195	白雪姫	2	娘小華姫、もう一人は性別不明	王子
No.196	白雪姫	1	流産後、娘白ゆりをシングルマザーとして出産（娘は隣国の王子と結婚、白雪姫の孫誕生）	王子（子供誕生前に離婚）
No.197	白雪姫	1	娘小春姫	王子
No.198	白雪姫	1	性別不明（赤ちゃん）	王子
No.199	白雪姫	2	娘	王子
No.200	白雪姫	1	娘白百合姫	王子
No.201	白雪姫	1	王女ジュエリー(狩りに来ていた王子と結婚)	王子は王に白雪姫は王妃に
No.202	白雪姫	1	娘（狩人は母に殺されていた、記憶をなくして王子と結婚）	狩人（王子は結婚後に死亡）
No.203	白雪姫	4	娘4人（4番目の娘を北国の王子と結婚させ跡継ぎに）	王子
No.204	白雪姫	1	娘	王子
No.205	白雪姫	1	息子	王子
No.206	白雪姫	1	息子(18歳になると音楽の才能を発揮する)	王子
No.207	シンデレラ	1	娘	王子
No.208	シンデレラ	1	娘	王子
No.209	シンデレラ	1	娘サラ	王子
No.210	シンデレラ	1	娘セリーヌ	王子
No.211	シンデレラ	1	性別不明（孫もできる）	王子
No.212	シンデレラ	2	性別不明	王子
No.213	シンデレラ	2	娘メアリー、息子マイケル王子	王子
No.214	シンデレラ	1	娘ミシェル	王子
No.215	シンデレラ	6	1年後、3人の男の子、さらに1年後、3人の女の子	王子
No.216	シンデレラ	1	男の子	王子

	民 話	子どもの数	子どもの性別 (名前)	伴侶(子どもの父親・母親)
2008年度				
No.217	シンデレラ	2	双子の女の子	王子
No.218	シンデレラ	3	性別不明	王子
No.219	シンデレラ	1	娘セラ	王子
No.220	シンデレラ	2	男女の双子	王子
No.221	シンデレラ	2	双子の女の子	王子
No.222	シンデレラ	1	性別不明	王子
No.223	シンデレラ	1	娘ローラ	王子
No.224	シンデレラ	1	性別不明	王子
No.225	シンデレラ	1	性別不明 (赤ちゃん)	王子
No.226	シンデレラ	2	性別不明	王子
No.227	シンデレラ	2	娘2人	王子
No.228	シンデレラ	1	娘	王子
No.229	シンデレラ	1	娘ウエンディ	王子
No.230	シンデレラ	4	メアリー、ジャック、トム、ケイト	王子
No.231	シンデレラ	1	娘スプリング(コウノトリが運んできた)	王子
No.232	シンデレラ	1	性別不明	王子
No.233	シンデレラ	3	娘メアリー (2人が殺害)、男女の双子 (女の子はメアリーの生まれ変わり)	王子
No.234	シンデレラ	1	娘エミリー	王子
No.235	シンデレラ	2	性別不明、さらに孤児の少女をひきとって育てる	王子
No.236	シンデレラ	2	娘テリシャは農民と結婚、息子(妻アリスが子を生む=孫)	王子
No.237	シンデレラ	1	娘メアリー (ハンス少年と結婚)	王子
No.238	シンデレラ	1	娘テレサ (その子孫がマザーテレサ)	王子
No.239	シンデレラ	1	娘ローラ (魔法で美男子となったネズミのガスと結婚)	王子
No.240	シンデレラ	1	娘エリザベス	王子
No.241	シンデレラ	1	娘ヘーゼル (シンデレラの死後、隣国の王子と結婚)	王子
No.242	シンデレラ	0		王子と離婚、隣国の王子と結婚
No.243	つぐみのひげの王さま	2	息子(王子)と娘(王女)	王
No.244	鶴の恩返し	1	息子	記載なし
No.245	鶴の恩返し	1	息子	亡夫
No.246	美女と野獣	2	性別不明	王子
No.247	美女と野獣	2	男の双子アレックスとニッキー (ミッシェルとレベッカ姉妹と結婚)	王子
No.248	ヘンゼルとグレーテル	0		兄妹でないので二人が結婚
No.249	ヘンゼルとグレーテル	1	ヘンゼルは結婚し、子どもを授かる(性別不明)	妻
No.250	ヘンゼルとグレーテル	各1	ヘンゼルの娘アナナス、グレーテルの息子カイザー	記載なし、それぞれ結婚
No.251	ヘンゼルとグレーテル	0	ヘンゼルとグレーテルの腹違いの妹(母親は継母)	父とその後妻
No.252	ヘンゼルとグレーテル	0		ヘンゼルの妻メリーはあの魔女だった
No.253	星の銀貨	0	子どもは流産する	夫
No.254	星の銀貨	0		王子と結婚、別れる
No.255	桃太郎	?	子孫の桃之輔(その家来は犬三郎、きじ子、猿彦)	
No.256	ラプンツェル	2	息子ディル、娘(双子の妹) マリー	王子
No.257	ラプンツェル	1	娘マーシュ	王子
No.258	ルンパルシュティルツヘン	3	長女ライラ姫、次女エルゼ姫、末娘クリス姫	王



	民 話	子どもの数	子どもの性別（名前）	伴侶(子どもの父親・母親)
2009年度				
No.259	赤頭巾	1	娘白ずきん(白ずきんは狼の子とも結婚)	
No.260	赤頭巾	1	娘桃色ずきん	助けてくれた猟師
No.261	赤頭巾	1	娘（娘も赤ずきん）	記載なし
No.262	赤頭巾	0		別な狼（実は悪魔に姿を変えられていた少年）
No.263	赤頭巾	1	息子青ずきん	ボーイフレンド
No.264	一寸法師	0		姫
No.265	一寸法師	0		姫
No.266	いばら姫	1	娘キャメロン(いばら姫の名はオーロラ姫)	デイビッド王子
No.267	いばら姫	3	娘3人（三つ子）	王子
No.268	いばら姫	2	娘2人（双子）チューリップとマーガレット（いばら姫の名はオーロラ姫）	フィリップ王子
No.269	いばら姫	0		ルイ王子（助けてくれた王子とは別れる）
No.270	浦島太郎	0		妻と再会
No.271	浦島太郎	0		妻花子
No.272	浦島太郎	0		乙姫
No.273	3匹の子ブタ	3	長男(建築家、建設会社社長)に3匹の息子が誕生	妻は社員のトン子
No.274	3匹の子ブタ	0	三男	北国の姫＝白熊
No.275	ジャックと豆のつる	1	息子ジョン	嫁
No.276	白雪姫	3	娘3人（三つ子）	王子
No.277	白雪姫	1	娘	王子、王子が事故死した後は、王子によく似た腹違いの弟
No.278	白雪姫	1	娘	王子
No.279	白雪姫	1	娘ビエル	王子
No.280	白雪姫	2	娘エミリー、息子ライアン	王子
No.281	白雪姫	7	七人（七つ子） 性別不明	王子
No.282	白雪姫	1	娘黒墨姫（狐にされていた隣国のシオン王子と結婚）	王子
No.283	白雪姫	2	息子、娘	王子
No.284	白雪姫	1	美しい娘	王子
No.285	白雪姫	3	息子2人と娘1人（次男が王子になり、娘には10人子ども誕生）	王子
No.286	白雪姫	2	双子の娘：さくら、もも（さくらは小人の一人と、ももはその息子と結婚）	王子
No.287	白雪姫	7	子ども七人(小人達の名をつける、一人はハッピー)	王子
No.288	白雪姫	1	娘ラララ姫（ある王子と結婚）	王子
No.289	白雪姫	7	七人（七つ子） 性別不明	王子だが、誕生前に戦死
No.290	白雪姫	2	双子の娘：美梅姫と優桜姫（二人にも結婚後双子が授かる）	王子
No.291	白雪姫	1	子ども（性別不明）	王子
No.292	シンデレラ	3	娘3人 クリアナ、レイム、マリクワ	王子
No.293	シンデレラ	1	息子マイケル	王子
No.294	シンデレラ	6	息子3人、娘3人	王子
No.295	シンデレラ	1	子ども(授かったままで、誕生には至らない)	王子
No.296	シンデレラ	2	息子ジョン、娘エリザベス	王子
No.297	シンデレラ	1	子ども(授かったままで、誕生には至らない)	王子

	民 話	子どもの数	子どもの性別（名前）	伴侶（子どもの父親・母親）
2009年度				
No.298	シンデレラ	1	娘シンデレイラ	王子
No.299	シンデレラ	1	娘	王子
No.300	シンデレラ	1	養子ダンテ（孤児だが、16歳の誕生日に本当の子どもとして育てることに）男女不明	王子
No.301	シンデレラ	1	赤ちゃん誕生（性別不明）	王子
No.302	シンデレラ	1	娘（舞踏会で母親シンデレラの靴を履くが落とす、拾った男性と結婚）	王子
No.303	シンデレラ	1	ケント（健永）（ケントは王子の娘と結婚）	王子、後に城を出て日本人と結婚するので、子どもの父親は日本人男性
No.304	シンデレラ	2	2人（性別不明）	王子
No.305	シンデレラ	1	子ども（授かったままで、誕生には至らない）	王子
No.306	シンデレラ	1	美男子の息子ベル	王子
No.307	シンデレラ	2	2人（性別不明）	城の使用人ダニエル（王子とは別れる）
No.308	シンデレラ	2	双子の兄妹（ハタレ兄と気の強い妹）	王子
No.309	シンデレラ	2	2人（娘と息子）	舞踏会で会った貴族の家来（駆け落ちした後出産）
No.310	シンデレラ	1	一人（性別不明）	王子
No.311	シンデレラ	1	娘ミニシンデレラ	王子
No.312	シンデレラ	1	娘	王子
No.313	シンデレラ	1	一人（性別不明）	王子
No.314	シンデレラ	3	3人（性別不明）	レストランで会った青年（王子とは別れる）
No.315	シンデレラ	3	3人（一人は息子クリス、他二人は性別不明）	王子
No.316	シンデレラ	2	娘メアリーと息子スパン（しっかり者の娘と怠け者の息子）	王子
No.317	シンデレラ	1	一人（性別不明）	王子
No.318	美女と野獣	1	息子ヘンリー	王子
No.319	美女と野獣	1	娘メアリー	王子
No.320	美女と野獣	1	息子（高校卒業後7年間働き、同級生と結婚）	王子
No.321	ヘンゼルとグレーテル	2?	二人とも結婚して子どもが誕生（性別不明、人数不明）	記載なし
No.322	ヘンゼルとグレーテル	1	グレーテルは国王の後妻 義理の娘は白雪	国王
No.323	ヘンゼルとグレーテル	各1	ヘンゼルはメーテルと結婚、娘はエルザ、グレーテルはメルヘン王国の王子と結婚、子どもが授かる（性別不明）	お菓子屋で働く娘、王子
No.324	ヘンゼルとグレーテル	0		ヘンゼルは泉の女性と、グレーテルは鹿が変身した青年と結婚
No.325	桃太郎	0		川を流れてきた大きな梨から生まれた女の子梨子
No.326	桃太郎	0		隣家の女（料理上手）
No.327	桃太郎	0		農家の娘
No.328	桃太郎	4	息子だいのしん、（翌年）娘キャメロン、（翌々年）双子のニコラスとケイジ	19歳の女の子（桃太郎30歳）
No.329	桃太郎	0		畑になっていた大きなトマトから飛び出したトマ子（国一番の美少女）

	民 話	子どもの数	子どもの性別（名前）	伴侶(子どもの父親・母親)
2009年度				
No.330	桃太郎	1	梨太郎	花子
No.331	ラプンツェル	2	男女の双子（王子は世界一美しい娘と結婚して王になり、王女は軍人と結婚）	王子
No.332	ラプンツェル	2	男女の双子（王子クリスと王女マリー）	王子
No.333	ルンバシュティルツェン	2	妃は第二子を出産（息子）	王

表 D ヒロインを取り巻く明るい状況《ヒロインの出産》

続編の 昔 話	ヒロインの 人数	出産した子どもの数 (0～7人は子どもの数を、 枠内の数字はヒロインの数を示す) ※									子どもの性別と人数 (枠内は子どもの 人数)			備 考
		0人	妊娠中	1人	2人	3人	4人	6人	7人	たくさん	男	女	不明	
赤 頭 巾 04	15	13		1						1		1		
赤 頭 巾 05	2	1		1								1		
赤 頭 巾 06	6	4		1				1					7	
赤 頭 巾 07	18	14		4							1	2	1	
赤 頭 巾 08	16	15		1								1		一人は未婚
赤 頭 巾 09	16	12		4							1	3		
いばら姫04	5	1		4							1	3		
いばら姫05	4	2			1	1					1	4		
いばら姫06	2	0		1	1						3			
いばら姫07	2	2		2								2		
いばら姫08	2	1		1								1		
いばら姫09	7	4		1	1	1						6		
白雪姫 04	17	9	1	4	1	1			1		1	12	4	
白雪姫 05	9	6		3								3		
白雪姫 06	19	9		6	1				3		2	12	15	
白雪姫 07	26	8	1	11	3	3					16	6	5	
白雪姫 08	24	7		14	2		1				2	17	3	
白雪姫 09	30	14		7	4	2			3		4	16	22	
シンデレラ04	28	8		12	7	1					9	14	6	
シンデレラ05	8	5		2	1						1	2	1	
シンデレラ06	24	12		10	2						4	9	1	友人の白雪姫にも1人
シンデレラ07	57	22	1	21	7	6					14	27	13	
シンデレラ08	61	26		23	8	2	1	1			10	32	13	
シンデレラ09	50	25	3	12	6	3		1			11	15	16	
											81	189	107	子どもの総数377人 (赤頭巾04の「たくさん」を除く)
ヒロインの数	448	218	6	146	45	20	2	3	7	1				

※「続編の昔話」の欄にある数字04～09はその続編が書かれた年度をさす。つまり「赤頭巾04」は2004年度に書かれた赤頭巾の続編のことである。

※「出産した子どもの数」の欄にある「3人」の枠内に6とある場合、子どもを3人出産したヒロインが6人いるということである。

※「子ども性別と人数」では、妊娠中の子どもは性別不明の欄に入れた。また表 C で子どもが養子の場合は上記の表には含まれない。

赤頭巾はまだ少女なので、結婚まで話が進まない場合が多く、よって子どもの数は少ない。『白雪姫』や『シンデレラ』や『いばら姫』は結婚が元の民話のエンディングであるから、続編の大半は結婚後の話となり、当然のことながら子どもの登場する割合が高い。しかし子どもの出生率をあげることはあまり意味がないと考える。なぜなら、続編では結婚しても出産にまで至らないまま結末を迎えるものも多く、はたしてそのまま死ぬまでヒロイン達が出産するか否かは書いた学生にもわからないからだ。学生自身、出産はまだ先のことから、続編ではそこまで書かなかった可能性が高い。

出産するヒロインに視点をあててみると、子どもは一人という設定が多く、性別は女性が圧倒的に多い。昔なら、何をさておき跡継ぎに男子出生を願うのだろうが、現代の若者にはそのようなプレッシャーはない。さらに男女の双子という設定も目立つ。なぜ双子に憧れるのかは不明だが、子どもを持つなら男女とも欲しい、できれば出産は一度ですませたいという考え方からきているのかもしれない。また、7人の子どものみを出産するのは白雪姫に限定されている。これは7人の小人の影響があると誰でも容易に理解できる。

子どもの名前には学生の意図と知識不足が反映されている。白雪姫の娘が白雪娘、美雪姫、舞雪姫、白雲姫、雪奈姫、白桃姫、白薔薇姫、小雪姫、小春姫、小華姫、白百合姫、赤苺姫、黒墨姫、赤頭巾の娘が黒頭巾、空頭巾、白頭巾、桃色頭巾、息子あるいは弟が青頭巾、シンデレラの娘がヒメデレラ、シャンデリア、ランデリアとあるのは、母娘のつながりを学生なりに工夫し考えた結果である。しかし、シンデレラの息子がトム、ジョニー、ニック、デップ、娘がローラ、シャイニー、サラ、ウェンディ、ケイトとあるのは、庶民の名と王子や王女につける名の区別ができていないからである。さらにシンデレラの娘がゆきの、息子がベル、桃太郎の娘がキャメロンとあるのは、よく言えばグローバルで性を超えた発想といえるが、実際は国別及び男女別の名の違いを知らないからである。これは授業中に実施したアンケートからわかったことでもある。ジャックは英国民話に、ハンスはグリムやドイツや北欧民話に、ベルやシャルルはフランス民話に、イワンやワシリーサはロシア民話に登場する名という判別ができていない。つまり、学生の大半は名前が言語と結びついていることから国によって異なるということに無頓着というより、知らないのである。その主原因は本を読まないことにあると推測する。付け加えれば、昔の職業や階級制度、背景となる地理的状况、民話に登場する小道具（日本民話では、葛籠、臼、杵、俵、小槌、菅笠、蓑など）を知らない学生も多い。そのため、講義中に説明が余儀なくされる。

さて子どもの父親だが、シンデレラや白雪姫やいばら姫の場合は、当然のことながらそのほとんどが夫である王子である。王子以外の男性が子どもの父親になっている場合も、小人の一人や

継母の手下だった狩人（白雪姫）、貴族の家来や城の召使（シンデレラ）と民話の登場人物が選ばれている。ただシンデレラの再婚相手には民話の世界とは無関係の男性も登場する。レストランで会った男性や日本人男性がそれに当たる。学生の中には民話の続編だという意識が薄れ、王室や王族の知識もないため（王妃と王女と女王の区別がわからない学生もいる）、民話の枠を大きく逸脱した男性がプリンセスの結婚相手に選ばれるのだろう。お姫様たちと違って、庶民の少女である赤頭巾の夫も、助けた猟師、その息子、その孫、本当は人間だが魔法にかけられていた狼（死んでいなかった）と、やはり民話に登場した人物かその関係者であることが多い。同年齢の少年や王の息子が夫になっているケースもある。

女性の伴侶に比べると、男性主人公の妻はユニークで型破りである。桃太郎の妻がその代表で、結婚で娘に戻った兎のほか、川を流れてきた梨から生まれた梨子、畑になっていたトマトから飛び出したトマ子などが登場する。豆をくれたお爺さんの孫娘と結婚するジャックのケースも面白い。

主人公が男女の子どもを一人ずつ持った場合、しっかり娘と軟弱息子の組み合わせが目立つ。2004年度の桃太郎と妻の菊姫には姉弟の双生児が誕生する。姉の桃姫は活発で、剣の筋もよく、近所の子どもたちとちゃんばらごっこをして遊び、後に巴と改名する。一方、弟の菊太郎は大和撫子のようにしとやかで、お茶が得意とある。2009年度のシンデレラにはヘタレ兄と気の強い妹の双子が生まれる（ヘタレという言葉が続篇に登場したのは2009年が初めてである）。別のシンデレラの場合でも、5歳の息子ジョンは温厚な性格でインドア派、2歳の娘エリザベスはしっかり者でアウトドア派とある。草食系男子という言葉が流行る最近の若い男性と、男性に負けずに社会で頑張る女性の姿をそのまま反映していると解釈するのはいきすぎだろうか。

## ②暗い運命

本来の民話と同様に、続編でも主人公たちは様々な苦しみを味わうが、最後にはまた幸せになるという結末が多い。しかし不幸なまま末路を迎える暗い話も少なくない。ヒロインを取り巻く暗い状況を次にあげる表 E を用いて、分析してみよう。

表 E ヒロインを取り巻く暗い状況【ヒロイン及び身内の死や犯罪など】

続編の昔話	殺人	殺人未遂	拉致・監禁	婚その他（暴力・離婚・暴行・事件など）	投獄	死刑	追放・家出	病気	死亡（病死・事故死など）	自殺	自殺未遂	浮気
青髭04	1	1										
青髭09	1				1							
いばら姫04			1									
いばら姫07												
いばら姫09								1				1
白雪姫04	1	2					2					4
白雪姫05									2			
白雪姫06	1	1		1				2	2			4
白雪姫07	6	2		1			1	1		2		
白雪姫08		1	1			1		1				3
白雪姫09	1	1	2	1			1		1	1	1	2
シンデレラ04	3		1	2	2		2					
シンデレラ05				1	1							
シンデレラ06			1	2			2					1
シンデレラ07	4		4	2		1	2	2	2	2		6
シンデレラ08	1	1	5		1			5	6	2		4
シンデレラ09	3		1	5	1		1	3	1	2		7
ヘンゼルとグレーテル04	2		1									
ヘンゼルとグレーテル06	2	1							2			
ヘンゼルとグレーテル07	2	1										1
ヘンゼルとグレーテル08	2									1		
ヘンゼルとグレーテル09	2											
ラプンツェル04			1									
ラプンツェル08	1											
ブレーメンの音楽隊05					1							
かぐや姫05			1									
計	33	11	19	15	7	2	11	15	14	10	1	33

※上記の数字は作品数を示す。

※「続編の昔話」の欄にある数字04～09はその続編が書かれた年度を表す。つまり、「赤頭巾04」は2004年度に書かれた赤頭巾の続編のことである。

不倫や浮気は現代の若者には珍しくもない出来事なのだろう。それゆえ、シンデレラも白雪姫も、「めでたしめでたし」で終わったはずの幸せが長く続かず、王子の浮気で苦勞する続編が多い。数は少ないが、シンデレラや白雪姫などヒロイン側が浮気する続編もある。2009年度の続編が最も多く浮気や不倫を扱っているのは提出レポート数が多いことによる。かつては浮気や不倫は子供の知る語彙の範疇にはなかったが、今やマスコミ報道やテレビドラマで小学生でも知っ

ている。したがって学生が題材に取り入れても何の不思議はないのだが、その浮気と同じくらいの数を扱っているのが殺人というのは偶然にせよ、不気味である（表Eによれば、どちらも33の続編で扱われている<sup>5)</sup>）。殺人に事故死や病死や自殺も加えると、暗い話の中では死が最も大きな存在となっている。

殺人と自殺を扱った続編をあげてみると、王子である夫に殺される白雪姫（2004年）、シンデレラの継母が王子を斧で殺害（2004年）、殺人犯として一生牢屋で過ごすシンデレラ（2004年）、ヘンゼルとグレーテルの父親が母親を殺害する（2004年）、魔女と母親を殺害するヘンゼルとグレーテル（2006年と2008年）、両親を釜戸へ押し込み焼殺するヘンゼルとグレーテル（2006年）、王妃が癌で死亡、相続した遺産を離婚訴訟をして手に入れるが、浮気相手の小人に裏切られ、すべてを奪われ、生きる気力を失い死んでしまう白雪姫（2006年）、息子を救うため魔女に命を差し出すシンデレラ（2006年）、狼に変身した赤頭巾は母親を食い殺す（2007年）、わが子を殺害するシンデレラと白雪姫（2007年）、娘を殺害されたシンデレラは姉達を殺した後に自殺、王子は落馬で死亡（2008年）、性格がゆがみ、税金を使って遊ぶシンデレラを王子が毒殺（2007年）、首を吊る王子（2007年）、服毒自殺する白雪姫（2007年）、死んだ狼の弟が村人に殺され、自責の念から自殺する赤頭巾（2008年）、娘を誘拐されて、剣で自殺するシンデレラの夫である王子（2008年）、魔女を殺した呪いで自分が魔女になるのを恐れて自らかまどの炎の中へ消えるグレーテル（2008年）、あらゆる国の王子を殺すラプンツェル（2008年）、自分の故郷である雪国に子どもを連れていったが、人間の夫似である体質ゆえに死なせてしまい、自殺する雪女（2008年）、青髭を殺して財産横領を図るが捕えられる姫（2009年）、死んだ狼の妻に毒殺される赤頭巾（2009年）、王子の浮気により自殺するシンデレラ（2009年）、魔法が使えるようになり両親を殺害するヘンゼルとグレーテル（2009年）など、哀れな悲しい死が目立つ。

全体を占める割合はそれほど高くはない<sup>6)</sup>にしても、なぜ続編で死がたびたび扱われるのだろうか。続編をドラマチックに描きたいと思って死をとりあげたのか、現実にはできない殺人を話のなかで実行してみたかったのか、寛大な主人公に代わって悪人に死を与えたのか、その理由はいろいろ想像できるが、復讐というのがまず一番に考えられる。継母や姉達の嫉妬による復讐、白雪姫の継母（魔女）の姉妹による復讐、狼及びその身内による復讐などである。これらはヒロイン側からみれば逆恨みであり、本来、悪者が復讐を実行すれば失敗するというのが鉄則だが、学生の描く続編ではなぜか成功するケースもあるのだ。また民話では悪者は徹底的に懲らしめられ、復讐できないように死ぬ終わり方が多いのだが、死や死刑を曖昧にする書きかえられた現代の民話（特にアニメーションや絵本）の影響からか、白雪姫の継母（魔女）が生きていたり、桃

太郎に成敗された鬼達が力を取り戻したりすることで、悪の存在が復活し、主人公たちが非業の死をとげるという痛ましい結末を描く続編もいくつかあった。民話の世界のように正義が勝ち、悪が減びるということにならないのが現実だということを、つまり学校で教えられている通りには物事は運ばない社会の理不尽さを学生なりに表現したかったのかもしれない。

現代社会の歪は病気という形を用いて続編で示されていることも見逃せない。精神疾患や脳の病気や癌などが主人公及びその身内を襲う。民話では登場人物の内面が描かれることはないのだが、学生の描く主人公は小説の登場人物同様、心を病み、病気に至るケースが目につく。うつ病、拒食症、過食症になるシンデレラ、精神的重圧に耐えかねて衰弱死するシンデレラ、常軌を超えた行動を繰り返した挙句に毒殺されるシンデレラ、アルツハイマー病になるシンデレラ、リング恐怖症や栄養失調になる白雪姫、ミイラ病になり、王子から血液提供を受ける白雪姫、原因不明の病気にかかるシンデレラや王子など、数の上では多くないが、その病状が読む者に与えるインパクトは大きい。病気を引き起こすヒロインの精神的な苦しみは、それまでと全く異なる結婚後の生活環境に順応できない苦悩、姑（王子の母）の厳しい妃教育または嫁いびり、王子の浮気や家庭内暴力、出来の悪い息子の自分勝手な振る舞い、継母、姉、王子の許婚、王子の愛人など周囲の女性によるヒロインへの妬みや逆恨みなど、現代でも十分通じる理由によるものが多い。先に述べたように、精神的苦痛を乗り越え、自分を鍛え、強く逆境に立ち向かい、困難を乗り越える強くたくましいヒロインが存在する一方で、苦しみに耐えかねて負けてしまうヒロインがいるのは興味深い。

さて、学生の死の扱い方をもう一度整理してみると、二通りあると考える。元々民話では人物を平面的に扱っている<sup>7</sup>ため、切られても刺されても血が出ることはなく、痛みも感じることはない。失った手足は最後には元に戻る。つまり、あっさりと人が死んだり、殺されたり、生き返ったりしているので、学生たちも民話という枠の中では深刻にならずに死を描けたのだろう。つまり学生が死を軽くみなしているのではないということだ。また、このような平面的な民話の登場人物を、立体的な血の通った人間、すなわち、現代の小説の主人公と同じように学生が描いたのだとも解釈できる。そう考えれば、主人公たちが病死や老衰死（100歳で眠るように息を引き取るシンデレラ（2008年））や孤独死（王妃の嫌がらせから結婚1年で城を出た白雪姫は小人の家で暮らし、孤独のうちに年老いて死ぬ（2005年））を遂げるのも納得できる。



## 4) ユニークな発想

すでに述べた強い女性やキャリア意識とはまた一味違うユニークな発想が続編の中には見られる。それらは時代を超えた要素を多く持っている。その一つに食育がある。毒リンゴが原因でリンゴ嫌いになった白雪姫が再びリンゴが食べられるように、王子と小人が悪戦苦闘し、最後には成功するというのは、まさに好き嫌いの矯正に通じる。また、リンゴ恐怖症を克服することで、白雪姫はアップルパイ専門店を、王子はリンゴ農園を営むようになるという災い転じて福となるストーリーには思わず微笑んでしまう。タイムスリップや異次元移動も学生が好んで使う手法で、一寸法師がマッチ売りの少女の世界へ行く、玉手箱を開けてお婆さんになった乙姫と一緒に浦島太郎は2005年の世界へ、そこで別の箱を開けて2人は22歳に若返る、シンデレラと王子は魔法使いのおばあさんによって2005年の東京へ、「星の銀貨」の少女が2006年のCMスタジオへ行くなど、ストーリーの展開についていくのが大変なほど、時間の広がりがある。

授業中に《もし妖精が三つの願いをかなえてくれるとしたら何を願うか》というアンケートを書かせると、「美しくなりたい、やせたい、お金持ちになりたい」という答えが必ず返ってくる。それほど学生にとって美と痩身は強い関心事である。その裏返しからか、ダイエットに励むシンデレラや白雪姫が毎年のように登場する。それまで家事をこなすことで適度な(あるいは過度な)運動をしていたが、結婚して城内で何不自由な生活を送っていると、豊かな食生活と運動不足で太ってしまうという学生のストーリー展開には説得力がある。食用豚のような姿、20キロ減量、30キロ減量、食事療法、リバウンド、レコーディングダイエット、コアリズムなどダイエットに関連する用語が飛び交う。ダイエットはヒロインだけに留まらず、同様の生活を送る王子にもふりかかる。メタボリックシンドロームになり100キロを越えた王子が必死にダイエットに励む姿は笑いを誘う。一方では過酷なダイエットにより拒食症から栄養失調や精神疲労を起こし、死に至るシンデレラも登場する。学生なりにやりすぎは危険だと承知しているのである。

幸せは長くは続かないというのが続編と元の民話の大きな違いのようだ。ダイエットに失敗し、醜くなって王子に捨てられるヒロインのほかに、ホストクラブにのめりこむシンデレラや白雪姫、王政崩壊により河川敷のホームレスになりさがる白雪姫(王子は浮気相手の家に転がり込む)、自分を世界一の美女を思い込み、男たちにちやほやされて浮気を繰り返した挙句、投獄されるシンデレラ、結婚して初めてわかった王子の浮気癖やマザコンや酒癖の悪さなど、現実の厳しさを学生は承知しているのだろう。恐らく、現実が民話と違って、いつまでもいつまでも幸せにはいかないのだということを、続編を通して暗に訴えているのだろう。

暗い話の中で考えさせられることは他にもある。かつては美しさを誇った白雪姫がその容貌も

性格も悪くなり、王子に愛想をつかされ、今度は自分が美しい者の命を狙う立場に変わる、あるいは年老いていく白雪姫が実娘の美しさに嫉妬して殺そうとするというストーリーは、細かなところは異なるが毎年のように描かれる。魔女を殺したグレートルが、その呪いからやがて魔女になり、ヘンゼルの娘や他の少女（かつてのグレートルを思わせる少女）によって焼死させられるという展開もたびたび見られる。知らず知らずに学生達の心の中に因果応報や輪廻のような発想が生じてくるのだろうか。こうしたストーリーの展開の仕方は民話の特徴である「繰り返し」を思わせる。もともと民話は親から子へ、子から孫へと繰り返して話されて伝えられていくものなのだから、「繰り返し」は最も重要な特徴である。学生は現代的な発想を取り入れながらも、基本的な要素もしっかり把握しているのだろう。

同様な「繰り返し」の手法は明るい形でも使われている。幸せになったシンデレラが魔法使いとなり、かつての自分と同じような境遇の女性をガラスの靴を使って幸せにするストーリーは先に取り上げた（2008年「シンデレラ～ガラスの靴は贈り物～」）が、シンデレラを助け幸せに導いた魔法使いもかつてはシンデレラだったという。ガラスの靴は代々選ばれし者に与えられる幸せの贈り物なのだ。さらに、魔法とは無縁の繰り返しの面白さもある。2007年の『『シンデレラ』のあの人は今』では、シンデレラを失った継母は家事全般をさせる少女を捜し、その父親と再婚。ところがその少女はシンデレラ以上の美人で、魔法使いの力を借りずとも王子と結婚。以後、その義理の娘が王子と結婚できるという噂がたち、継母に結婚を申し込む娘を連れた父親が絶えなかったという。娘が嫁いだ後に、父親である継母の夫はどうなるのか、その夫がいる限り、再婚はむずかしいのではないかという疑問は残るが、ユーモアたっぷりで笑いを誘うストーリーである。

科学的な要素をもった続編は極めて少ないのだが、2007年度の赤頭巾には怪奇小説を思わせるものがある。狼の体内にいるうちに狼の血や粘液が細胞に入ってしまったおばあさんと赤頭巾は、助けられた後、狼に変身し、実母を食い殺すというのだ。しかも助かった赤頭巾は狼に食べられた話をしても皆に信じてもらえず、精神病院へ入院させられ、満月の夜に抜け出しておばあさんの家に行くと、おばあさんはすでに狼になっているという設定だ。狼男のモチーフが用いられ、スリリングでテンポのあるなかなかの秀作である。

## おわりに

「民話の続編：160名の学生に問う」を執筆したのは4年前だった。そのときの学生のレポートには見られなかった用語が今回の調査では数多く登場する。ストレス、円形脱毛症、拒食症、家庭内暴力、メタボリック、レコーディングダイエット、パティシエ、ヨガ、フラダンス、健康グッズ、アルツハイマー病、写メ、イケメン、ヘタレ、ナチュラルメイク、ニート、派遣切り、指紋センサー、行列のできる店、損害賠償金、バツイチ同士、森林破壊などである。これらの多くはかなり以前から社会に存在していた言葉だが、レポートで使われるほど10代の若者の生活にすっかり定着していることを改めて実感した。それと同時に、民話の続編に現代用語を取り入れることに違和感を抱かなくなっている学生が多いことに気づく。お姫様や妖精、魔法や魔法使いという言葉と上記のような現代用語が交じり合っても、彼女たちには何の疑問も生じないのである。それが現代の学生の感覚だと受け止めなければならないのだろう。ブルーノ・ベッテルハイムも述べているように、人間が抱えている普遍的な問題だけでなく、自分たちの心を捉えて離さない問題や日頃自分たちが考えている問題が、語り継がれる民話の中に含まれている<sup>8</sup>ことを考えれば、現代用語や社会現象が学生の書く民話の続編に組み込まれていても不思議はないのかもしれない。

民話と小説（物語）の区別がつかないと訴える学生も毎年いる。つまり、ピーターパンや不思議の国のアリスが民話の登場人物だと思っている学生が多いのである。図書館で調べるように勧めるのだが、面倒がってなかなかやらない。続編を書くにあたっても、必ず本を読んでからという条件を与えるのだが、DVDやビデオ、それもディズニーを見て済ませてしまうのである。ディズニーの影響はこちらが想像した以上に強く、ディズニーで使われる固有名詞（七人の小人の名前、『眠れる森の美女』の妖精や王子や王女の名前など）をそのまま続編で使ったり、ディズニーが好んで使う小動物（ネズミや猫）や人間が変身した小道具（『美女と野獣』のポットやコーヒークップなど）も元の民話に登場したと思い込み、スポットライトを当ててしまう学生が必ず数名いる。さまざまな要素を取り入れる発想は持ち続けてもらいたいが、まずは本を読むことを忘れないで欲しいと切に願っている。

学生は最初は課題に文句を言うが、実際書いて見ると楽しかった、もっと書きたかったが時間が足りなかった（提出期限がせまってから書き出すためだろう）と必ず何人かがレポートの最後に感想として付け加えている。学生が自分でストーリーを考え、書く楽しさを知ったことは教える側としては嬉しい。それぞれの続編から学生のメッセージがひしひしと伝わってくるのも感動

的だ。ストーリーの展開方法はさまざまだが、多くがとりあげるテーマは幸福と善悪である。彼女たちは、受身の幸せは長続きしない、ぬるま湯に浸っていると不幸になると考える。シンデレラがダイエットに励んだり、王子の浮気に悩まされたりするのはそのためだろう。そして、反省して元に戻って幸せになる本来の民話と違って、そのまま駄目になっていくケースを容赦なく描く傾向が強い。一度落ちたものが這い上がるのは難しいと考えるのか、学生の目はなかなかシビアである。結果として殺人や殺人未遂の続編がいくつかあったのは、学生なりに善悪の結果を描いたためだと考える。自殺が描かれていたのも、本当の幸せには本人の努力と自立の意識が必要だという考えの裏返しであろう。暗い面ばかりとりあげた表では目立つが、700近い全体の割合から言えば、殺人を扱った続編は全体の5%に満たないし、殺人と自殺をあわせても約6%と少ないのである。

民話は人間にとってあらゆる基本的な問題を聞き手や読み手に突きつける。生きる喜び、悲しみ、老い、死への恐怖、愛、憎しみ、男女の営み、残虐な処刑さえも民話はすべてをさらけ出している。本来平面的で簡潔な民話に、学生は現代の色、すなわち自分たちの心を捉えて離さない問題や日頃考えている問題を加えることで、起伏のある立体的な話を作り上げているのだと考える。民話は決して過去の遺物ではない。生きていく上での根本的な問題を真正面から隠さずとりあげ、解決方法のヒントを与えてくれる。そしていつも未来に目を向けている。だからこそ、学生の描く主人公たちはそれまでの呪縛から解かれ、広い世の中へ出て行くことで、自分自身を見つめたり、再確認したりする。民話は常に自立と成長を伴うのである。そう考えると、学生の描く続編はどれも価値あるものだと言える。

#### 注

- 1 鬼塚雅子「民話の続編：160名の学生に問う」『埼玉女子短期大学紀要 第17号』（2006.3）p.32.
- 2 高橋健二訳『アンデルセン童話集 I』（小学館、1991）pp.443-52.
- 3 マックス・リュートィ、野村滋訳『昔話の本質と解釈』（福音館書店、1996）p.443.
- 4 Bruno Bettelheim, *The Uses of Enchantment: The Meaning and Importance of Fairy Tales* (New York: Vintage Books, 1977) pp.5-6.
- 5 表E「ヒロインを取り巻く暗い状況」はすべての続編をまとめているわけではないが、男性主人公の作品は少なく、その中でも死を扱っているのはさらに少ないため、続編全体の状況を表して

いると捉えてもさしつかえないものと思われる。

- 6 表Eのヒロインを取り巻く死に限っては、殺人を扱った続編は33編（全体の4.8%）、殺人と自殺をあわせると43編（全体の6.2%）、さらにそれに死刑を加えると45編（全体の6.5%）である。男性主人公の死は極めて少ないため、加えても割合はほとんど変わらない。
- 7 マックス・リュートィ、小澤俊夫訳『ヨーロッパの昔話 その形式と本質』（岩崎美術社、2000）pp.18-41.及び小澤俊夫『昔話の語法』（福音館書店、1999）pp.210-19.
- 8 Bettelheim, p.6.

#### 参考文献

- 小澤 俊夫『昔話の語法』福音館書店、1999
- 河合 隼雄『昔話の深層』福音館書店、1978
- 三宅 忠明『比較文化論 民間説話の国際性』大学教育出版、2000
- 日本民話の会・外国民話研究会 編訳『世界の鳥の民話』三弥井書店、2004
- マックス・リュートィ、野村 洵訳『昔話の本質と解釈』福音館書店、1996
- マックス・リュートィ、小澤 俊夫訳『昔話 その美学と人間像』岩波書店、1995
- マックス・リュートィ、小澤 俊夫訳『ヨーロッパの昔話 その形式と本質』岩崎美術社、2000
- マックス・リュートィ、高木 昌史訳『民間伝承と創作文学』法政大学出版局、2001
- Bruno Bettelheim, *The Uses of Enchantment: The Meaning and Importance of Fairy Tales*, New York: Vintage Books, 1977
- Alan Dundes, ed., *Cinderella, A Casebook*, Wisconsin: The University of Wisconsin Press, 1988
- Jack Zipes, ed., *The Trials and Tribulations of Little Red Riding Hood*, New York: Routledge, 1993